

あすたむらんどリニューアル基本構想

2026年6月

徳島県

I 現状と課題

1 現状

- ・あすたむらんど徳島は、「水と緑と光」をコンセプトに整備された、科学と自然に触れ合うことができる大型公園である。
- ・遊びや体験を通して科学する心を育てる参加体験型の「子ども科学館」のほか、プラネタリウムや体験工房など、ファミリー層を中心として楽しみながら学べる、多彩な企画・イベントを展開している。
- ・令和3年には木のおもちゃ美術館がオープンし、令和5年（開園22年目）には入園者数が1,000万人に到達。年平均入園者数は43万人前後で推移しており、校外学習の場・県民の憩いの場として多くの方に利用されている。

◇概要

開園	平成13年7月1日
所在地	徳島県板野郡板野町那東字キビガ谷 45-22
敷地面積	約 243,565 m ² (24ha)
主な施設	子ども科学館、プラネタリウム、吉野川めぐり（ウォーターライド）、芝生広場、風車の丘、くつろぎ館（飲食）
併設施設	木のおもちゃ美術館（令和3年オープン）

◇園内マップ



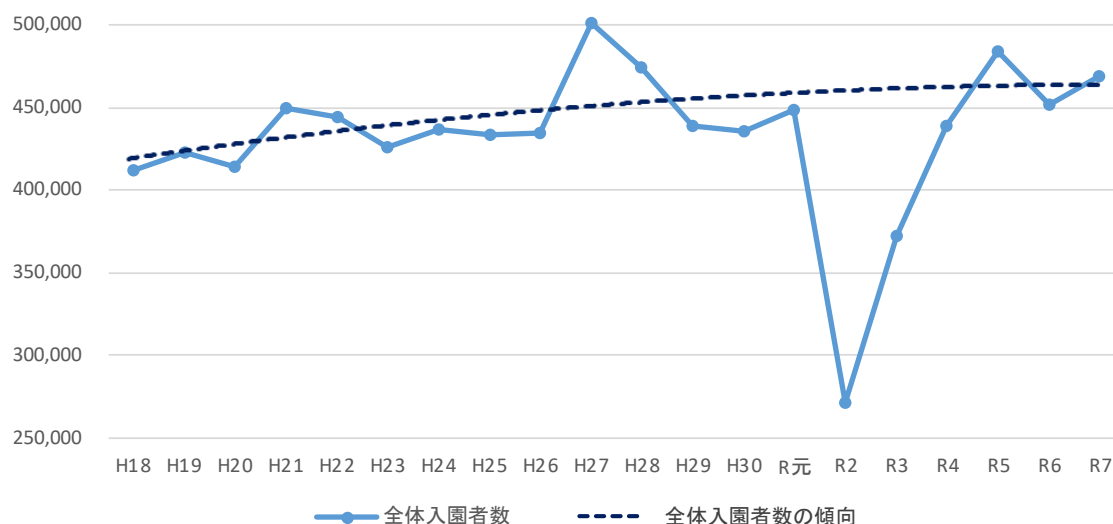
2 課題

(1) 有料施設の更なる魅力向上

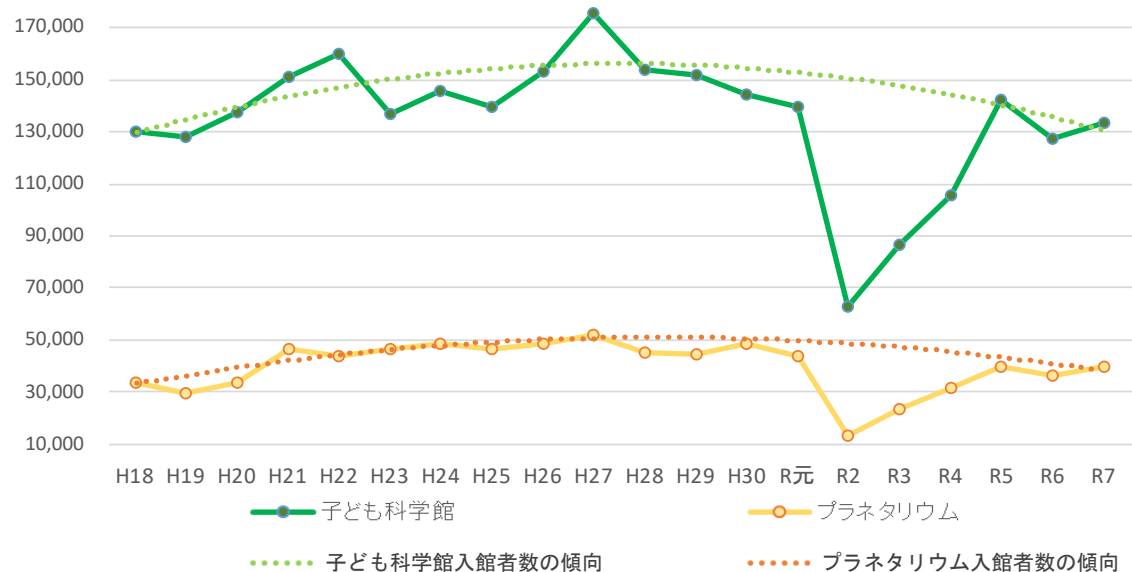
全体入園者数はコロナ禍を除き、約43万人前後で推移している一方、子ども科学館・プラネタリウムの入館者数は、コロナ禍を経て回復の動きは見られるものの、全体の傾向としては近年減少傾向を示している。この要因の一つとして、開園以来、大規模更新がなく、老朽化、展示の陳腐化が進んでいることが考えられる。全ての子どもたちに科学への興味・発見・学びの機会を提供するため、時代に合わせた展示更新が必要である。

また、常に内容をアップデートし続けられるよう、持続的な運営体制の構築も今後の課題である。

◇全体入園者数の推移



◇子ども科学館・プラネタリウム入館者数の推移



※各傾向線について、R2~4のデータはコロナ禍による特殊要因として除外

◇子ども科学館の展示の一部



経年劣化による不具合が発生



使用されているパソコンのOSが古く、修繕ができない状況

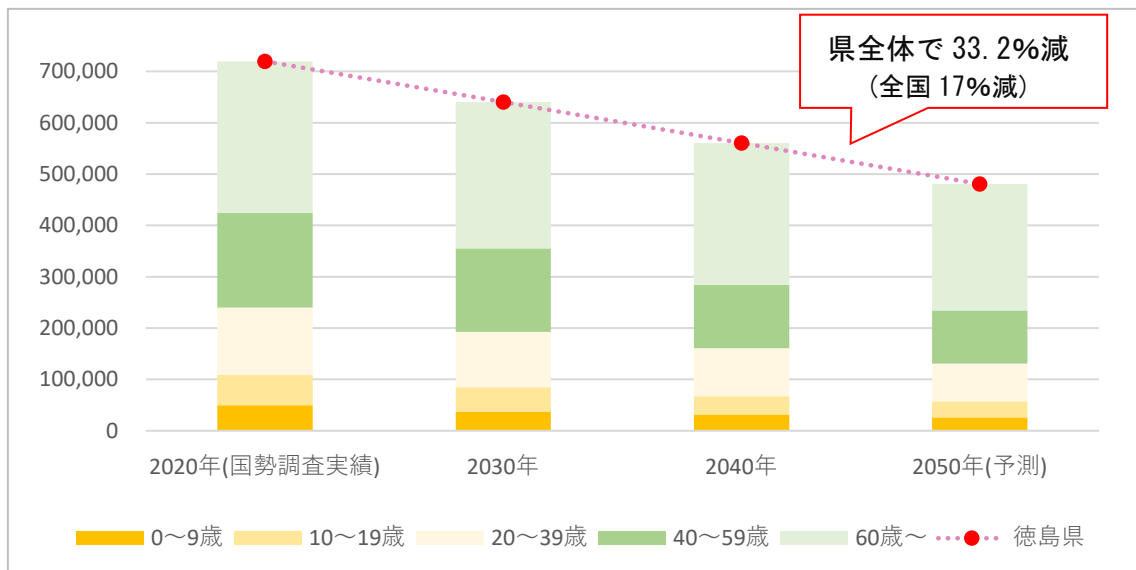


(2) 新たな利用者層の獲得

人口減少や少子化により、現在のメイン利用者層（0～9歳）は、2050年には約47%減（2020年比）となる予測。利用者アンケートでも「こどもが大きくなってからは行かなくなった」との意見が挙がっており、施設を最大限に活用するため、今後はファミリー層に加え、若者や観光客など、新たな利用者層の掘り起こしが必要である。

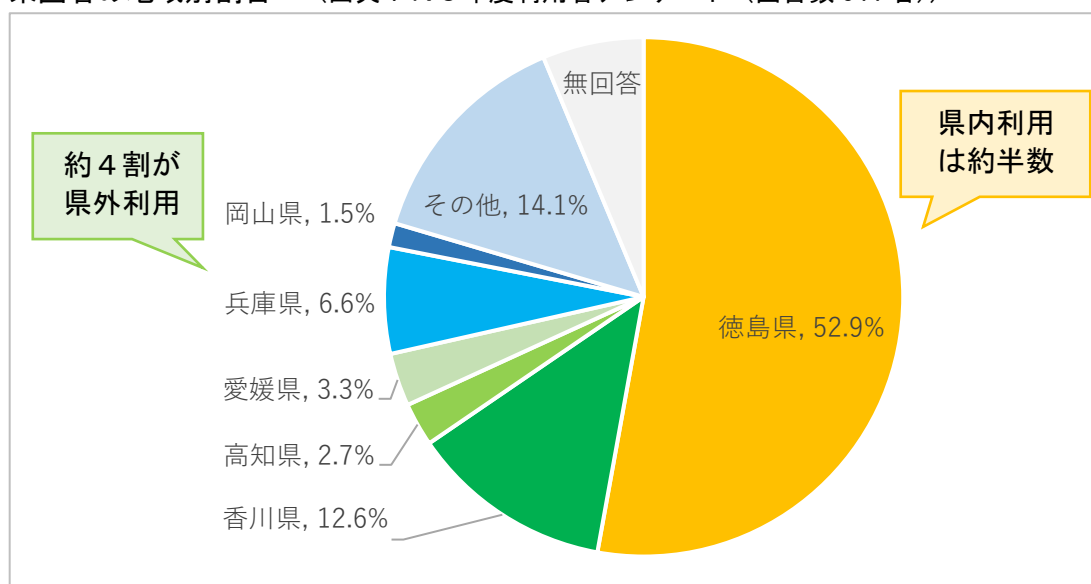
◇徳島県の将来人口推計

(出典：厚生労働省 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口(2023年推計)』)



徳島県	2020年(国勢調査)	2050年(予測)	増減率
0～9歳	49,927人	26,198人	▲47.6%
10～19歳	59,204人	30,906人	▲47.3%
20～39歳	130,757人	73,867人	▲43.6%
40～59歳	184,607人	103,471人	▲44.0%
60歳以上	295,064人	246,227人	▲16.6%

◇来園者の地域別割合 (出典：R6年度利用者アンケート(回答数344名))



(3) 持続可能な運営体制の検討

現在の施設維持管理・運営経費は県費で賄っており、その負担費用は年間約6億円に上る。人口減少・少子高齢化等により、県財政が一層厳しさを増す中、持続可能な施設運営を実現するため、財政負担の縮減を図っていく必要がある。

また、社会情勢の変化に伴い、多様化する利用者ニーズに対応した効果的・効率的なサービス提供も求められており、民間ノウハウの積極的な導入を検討する必要がある。

II 基本構想策定の経緯

あすたむらんどは、子ども科学館とふれあい公園を核に、「科学に関する体験」と「人と人との交流の場」として、平成13年の開設以来、こどもやファミリー層を中心に、累計1,000万人を超える多くの方々に利用いただいている。

一方で、先述のとおり、施設の老朽化や展示内容の陳腐化が進み、さらには、人口減少や少子化、レジャーの多様化など、社会情勢が大きく変化する中で、あすたむらんどが、これからも魅力のある施設であり続け、さらに価値の高い選ばれる施設となるためには、社会・技術の進展や、県民の皆様の幅広いニーズを踏まえた抜本的な見直しを行う必要がある。

また、見直しにおいては、サービスや利便性向上、運営の効率化を実現する民間活力の導入を積極的に検討する必要がある。

本構想は、県民の皆様や有識者、民間事業者等、様々な観点から頂いたご意見・ご提案を踏まえながら、リニューアルに向けた基本的な考え方をとりまとめたものである。

今後、基本構想に定める方針のもと、専門知識やノウハウを有する民間事業者や有識者等との連携により、目指す将来像の具現化を進めていくこととする。

策定経緯

- ◆あすたむらんどのあり方見直しに関する県民アンケート
令和7年12月1日～令和8年1月4日実施 回答者2,770名
- ◆官民連携事業化に向けたサウンディング調査
令和7年10月30日～令和8年1月13日実施 8事業者・団体
- ◆あすたむらんどあり方検討会（委員10名、庁内PT7名）
令和7年11月28日 第1回検討会
・現地見学
・意見交換
令和8年2月16日 第2回検討会
・県民アンケート及びサウンディング調査結果について
・基本構想素案について
・意見交換
- ◆「あすたむらんどリニューアル基本構想(素案)」に係るパブリックコメント
令和8年3月3日～令和8年4月8日 意見数26名・27件

Ⅲ 目指すべき施設の将来像

- ▶ 徳島にしかないテーマパーク
- ▶ 年間60万人のにぎわい創出
- ▶ 持続可能な「収益循環」の創出

1 基本方針

エンターテインメントを通じた「学び」の拠点

- (1) エンターテインメントと学び(教育)を融合させた「エデュテインメント (Edutainment)」の拠点として、こどもから大人まで、あらゆる世代が遊びや体験を通じて、楽しみや夢、目標を見出すことができる施設
- (2) 本県の「豊かな自然」や「産業・技術」、「伝統文化」を体感できる拠点として、「徳島の未来を担う人材育成」や「地域活性化」に寄与する施設
- (3) 現代ニーズの核心である「ウェルビーイング」や「サステナビリティ」をキーワードとした、徳島ならではの「価値ある体験」を創出し、国内外からの誘客が図れる施設

2 見直しの観点

(1) 社会情勢の変化を踏まえた「施設価値」の再構築

- ・ これまでのメイン利用者である「ファミリー層」の満足度向上を図るとともに、若者から大人、観光客など、ターゲット層の拡大を見据えた「施設コンセプト」の見直し
- ・ 時代の変化や技術の進展を取り入れ、デジタル技術による施設のアップデートを行うことで、よりエンターテインメント性の高い施設へと進化

(2) 持続・成長する施設運営の実現

- ・ 10年、20年先も、多くの人を集客できる魅力的な施設であり続けるため、民間活力(資金とノウハウ)の積極的な導入により、「施設の魅力向上」と「運営の効率化」を両立できる運営体制を実現
- ・ 県や運営事業者だけでなく、県内外の企業や各種団体、さらには教育機関等が施設運営に関わり、相乗効果を生み出す連携体制を構築

IV 今後の方向性

1 重視する機能

今回の見直しに至った経緯や県民の皆様・有識者のご意見などを踏まえ、次の点を重視しながら、リニューアルに向けた具体的な検討を進める。

(1) 次世代を育む「科学・技術」の探求拠点

- ・最新の科学技術を駆使した没入型・体感型展示やデジタルアートなど、こどもから大人まで楽しみながら学べる「エンターテインメント性の高い施設」として展示内容をリニューアル
- ・教育機能を重視し、「発見」「創造」「発表」をサイクルとした探求学習やSTEAM教育の拠点として、各種体験型プログラムを展開
- ・県関連企業や大学、クリエイター等との連携による職業体験イベントの開催や先端技術の紹介などを通じ、地域の産業発展や人材育成に寄与
- ・プラネタリウムは、様々な映像コンテンツの提供やコンサートなど、多目的利用が可能な施設へのリニューアルを検討

(2) 多世代が楽しめる「遊びと憩い」の環境

- ・老朽化した遊具のリニューアル、県民アンケートで要望があった未就学児向け遊具や誰もが一緒に楽しめるインクルーシブ遊具等の導入
- ・雨天時や夏季でも利用しやすいよう、屋根付きベンチ等の休憩場所の充実
- ・滞在中の利便性・快適性を高めるため、飲食・物販利用満足度の更なる向上
- ・幅広い世代の健康増進の場として、ウォーキングやランニングコースの設定
- ・四季折々の自然を楽しめるエリアの設定
- ・吉野川めぐりは大規模修繕も含め、観客が乗ったり移動したりするアトラクションの継承を検討

(3) 若者・大人・観光客をターゲットとした新たなにぎわい創出

- ・音楽フェスや野外映画祭、キャンプなどのイベントやアトラクションなど、若者のニーズを踏まえたコンテンツの充実
- ・夜間のイベントや飲食提供など、これまで利用が少なかった時間帯を活用した新たなにぎわいの創出
- ・安全安心に夜間利用を楽しめるよう、照明設備や安全柵等の環境整備
- ・ゼロウェイストや資源循環の視点を施設運営に取り入れるなど、「サステナブル」「ネイチャーポジティブ」の体験・実践を促進

2 持続可能な運営に向けた検討課題

(1) 「安定的な収入確保」と「施設維持・投資への収益の還元」

- ・将来の維持管理コストを踏まえた施設の最適化
- ・施設の収益性を高め、得られた収益を施設維持や新たな投資に還元し、利便性や魅力向上に繋げるサイクルを検討
- ・入園料、駐車場の有料化や、施設利用料については、各施設の目的や役割、提供サービスの内容を踏まえ、適切な料金見直しを検討
- ・アンケート結果では、利用料金は「無料または低い料金に設定してほしい」という声も多数あるため、料金徴収のあり方については更なる検討が必要

(2) 誰もが快適に過ごすための「ゾーニング」

- ・こどもやファミリー層をはじめ、多様な利用者層が混在することから、こどもの安全を確保しつつ、誰もが快適に過ごすことができるよう、時間・空間の両面から適切な区分け（ゾーニング）の検討が必要

(3) 若年層の来園を促す「アクセスの向上」

- ・現状、主な交通手段は自家用車に偏っていることから、自家用車を所有しない層の来園を促すため、二次交通の充実など、アクセス向上に向けた検討が必要

V 事業手法の考え方

当該事業は、全体的な施設コンセプトのもと、様々な機能を有する複合施設の改修設計・施工に加え、整備後の維持管理・運営まで多岐にわたり、各分野において、専門的な知識やノウハウが求められる。特に、施設運営においては、利用者ニーズや社会情勢の変化に対応した柔軟な施設運営を可能とする体制整備が求められる。

また、施設の機能とソフト事業は密接に関連し、運営を見据えた効果的・効率的な改修を実現するためには、施設改修の設計段階から事業運営に至るまで、専門的知見や豊富な事業経験を有する民間事業者のノウハウを活用できることが重要である。

さらに、早期の整備着手を目指すとともに、全面休園させることなく、運営を継続しながら、計画的に施設リニューアルを進めるため、最適な事業手法の検討を進めていく。

「あすたむらんどリニューアル基本構想」資料集

資料 1 県民アンケート結果の概要

資料 2 サウンディング調査結果の概要

資料 3 検討会・庁内 PT からの意見

資料 4 あすたむらんどあり方検討会設置要綱・委員名簿

あすたむらんどのある方見直しに係る県民アンケート結果の概要

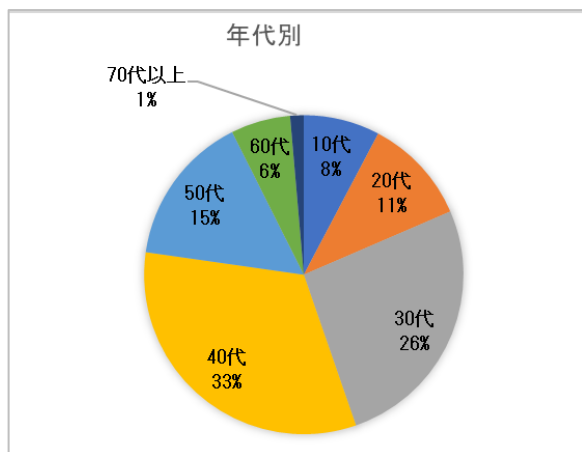
1 実施期間

R7. 12. 1～R8. 1. 4

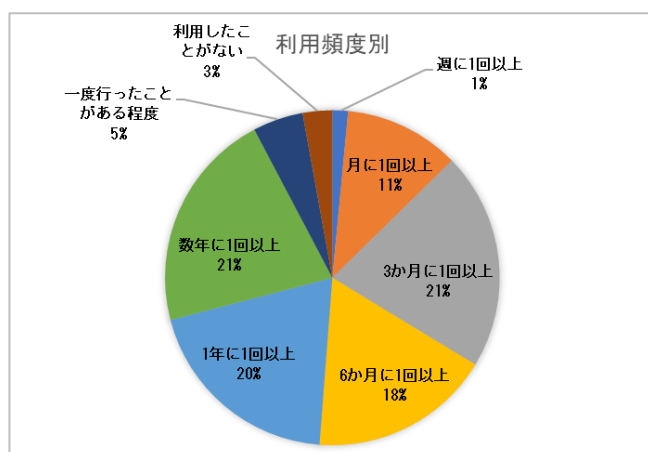
2 回答者の属性

(回答者数 2,770名)

(1) 年代別



(2) 利用頻度別

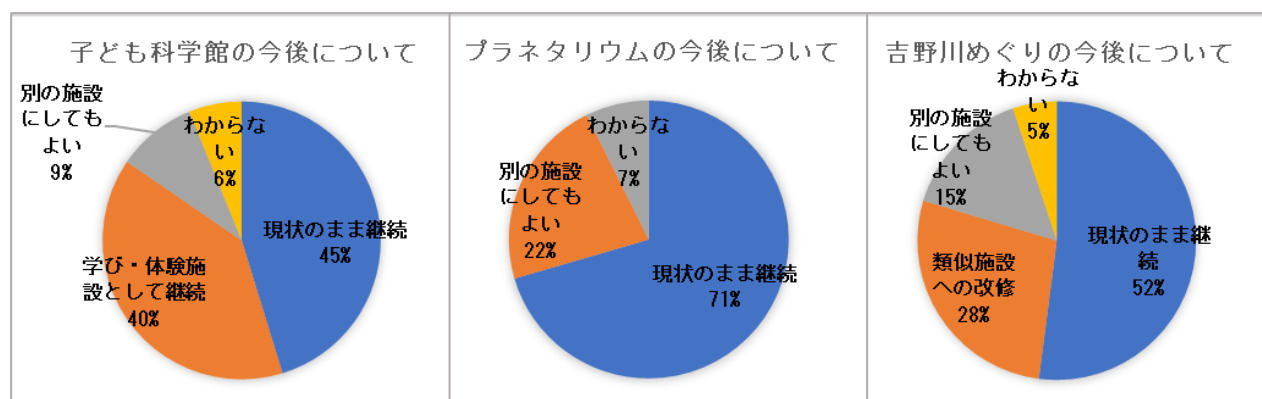


(3) 地域別

県東部：2,263名 (81.6%) ※うち徳島市1,252名 (45%)
 県南部：267名 (9.6%)
 県西部：169名 (6.1%)
 県外：71名 (2.5%)

3 概要

(1) 既存主要施設の評価



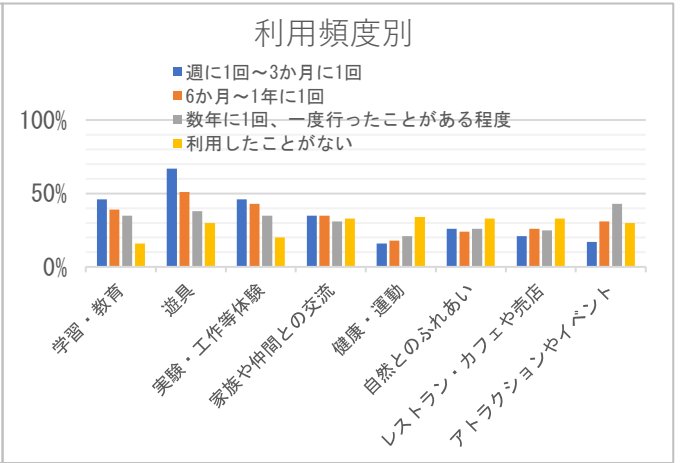
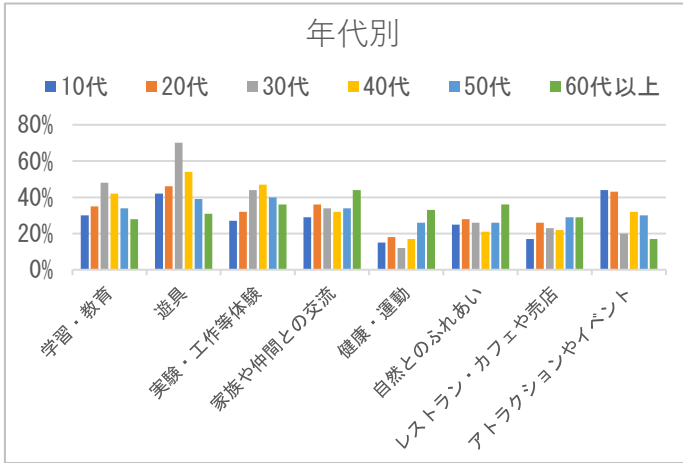
(2) 求める機能

【年代別】

10～20代では「アトラクションやイベント」「遊具」、
30～50代では「遊具」「学習・教育」「実験・工作等体験」
60代以上では「家族や仲間との交流」「自然とのふれあい」
を求める割合が高い

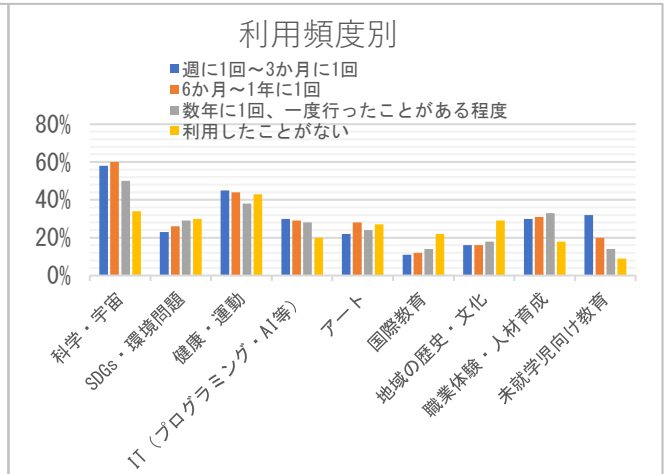
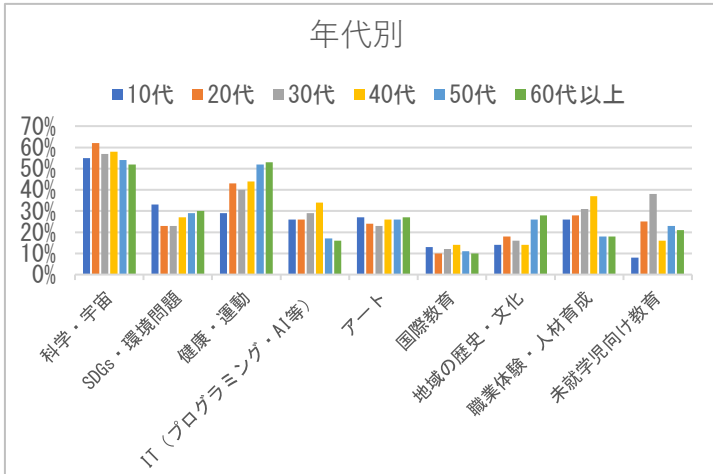
【利用頻度別】

利用頻度が高い層を中心に、「教育」「遊具」の充実を
求めているのに対し、
利用頻度の低い層では、「アトラクションやイベント」を
求める割合が高い



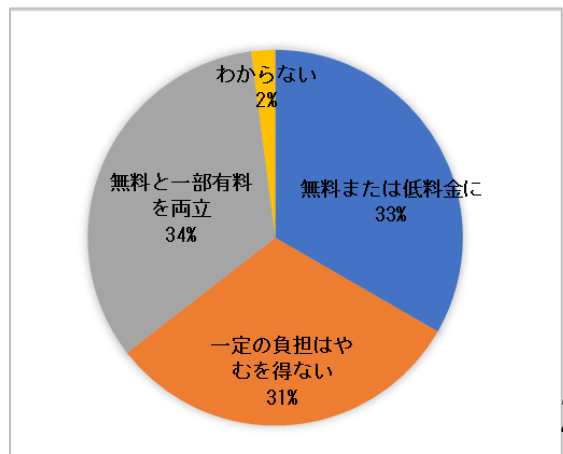
(3) 求めるテーマ

年代や利用頻度に関わらず、「科学・宇宙」「健康・運動」の声が多く、
加えて、10代と50～60代は「SDGs・環境」、20・40代は「職業体験・人材育成」、
30代は「未就学児向け教育」が上位



(4) 利用料金に対する考え方

- ・ 「入園料無料または低料金に」
「一定の負担はやむを得ない」
「無料と一部有料を両立」の各回答が拮抗
- ・ 料金設定については、低料金を求める声が多い



あすたむらんのあり方見直しに関するアンケート調査

(アンケート実施期間：R7.12/1～R8.1/4)

Q1 アンケート回答者の属性（居住地）

居住地域	合計	全体に占める割合
徳島市	1,252	45.2%
鳴門市	151	5.5%
小松島市	63	2.3%
阿南市	197	7.1%
吉野川市	160	5.8%
阿波市	72	2.6%
美馬市	119	4.3%
三好市	15	0.5%
勝浦町	9	0.3%
上勝町	1	0.03%
佐那河内村	7	0.3%
石井町	81	2.9%
神山町	10	0.4%
那賀町	44	1.6%
牟岐町	3	0.1%
美波町	15	0.5%
海陽町	8	0.3%
松茂町	42	1.5%
北島町	97	3.5%
藍住町	191	6.9%
板野町	77	2.8%
上板町	50	1.8%
つるぎ町	15	0.5%
東みよし町	20	0.7%
県外(四国地方)	19	0.7%
県外(中国地方)	6	0.2%
県外(近畿地方)	23	0.8%
県外(その他)	23	0.8%
国外	0	0%

回答者数：2,770名

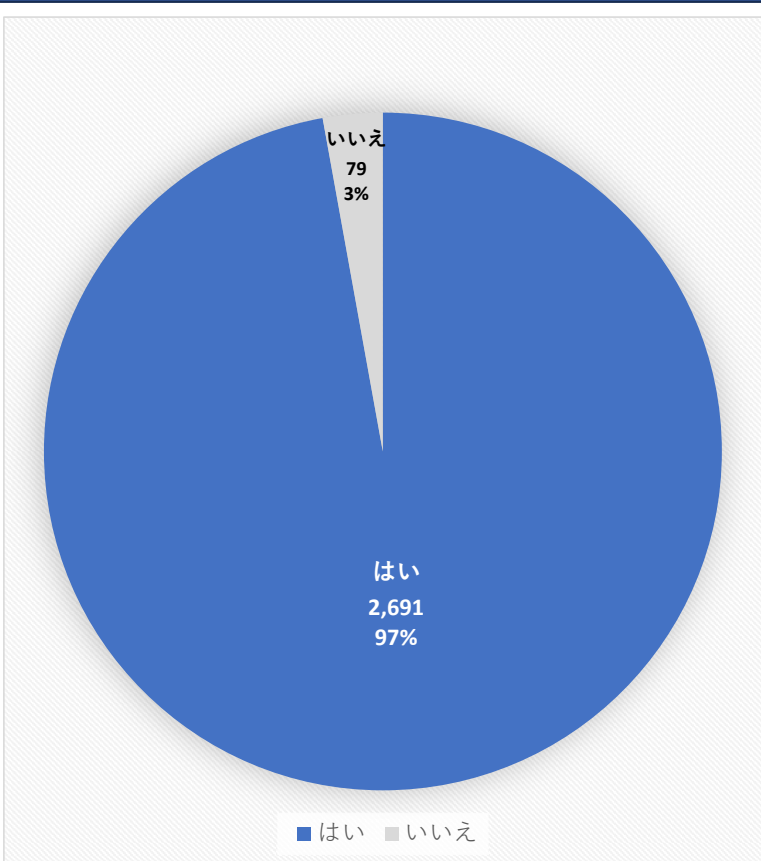
<エリア分け>
 県東部：2,263名（81.6%）
 県南部：267名（9.6%）
 県西部：169名（6.1%）
 県外：71名（2.5%）

Q2～3 アンケート回答者の属性（年齢層・性別）

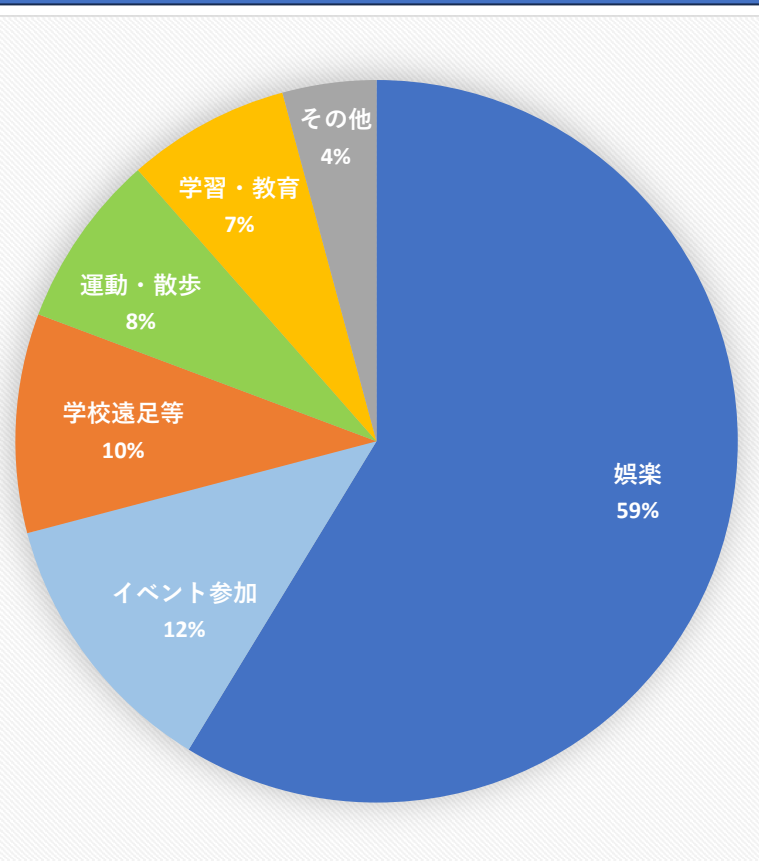
性別	合計	全体に占める割合
男性	847	30.5%
女性	1,863	67.2%
無回答	60	2.1%

年齢層	合計	全体に占める割合	性別	合計	全体に占める割合
10代	214	7.7%	男性	76	2.7%
			女性	129	4.7%
			無回答	9	0.3%
20代	299	10.8%	男性	76	2.7%
			女性	214	7.7%
			無回答	9	0.3%
30代	725	26.2%	男性	198	7.1%
			女性	518	18.7%
			無回答	9	0.3%
40代	902	32.6%	男性	207	7.5%
			女性	677	24.4%
			無回答	18	0.6%
50代	425	15.3%	男性	175	6.3%
			女性	236	8.5%
			無回答	14	0.5%
60代	167	6%	男性	89	3.2%
			女性	77	2.8%
			無回答	1	0.04%
70代	36	1.3%	男性	24	0.9%
			女性	12	0.4%
80代以上	2	0.1%	男性	2	0.1%
			女性	0	0%

Q4 あすたむらんどを利用したことがあるか

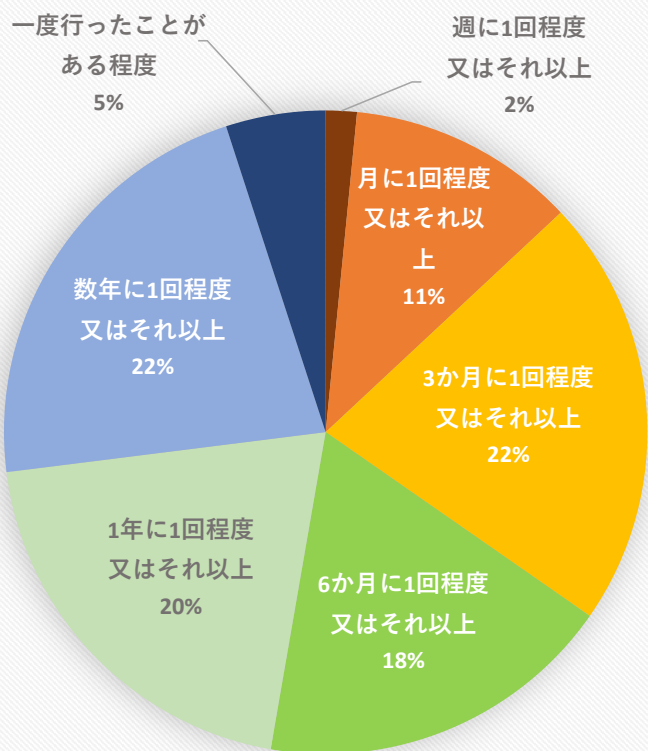


Q5 (Q4で「はい」の人のみ) 利用の目的

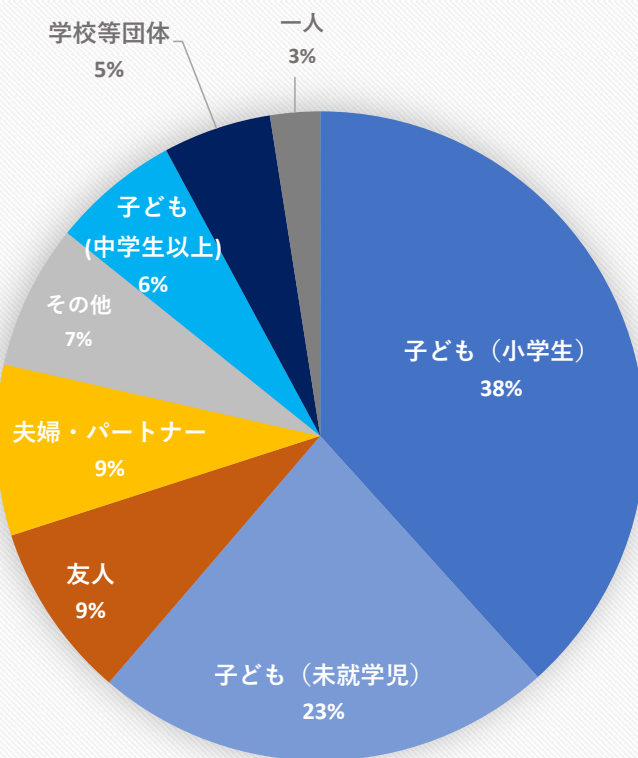


<その他（自由記載）の回答 ※一部>
 ・子どもを遊ばせるため
 ・ボランティア

Q6 (Q4で「はい」の人のみ) 現在の利用頻度

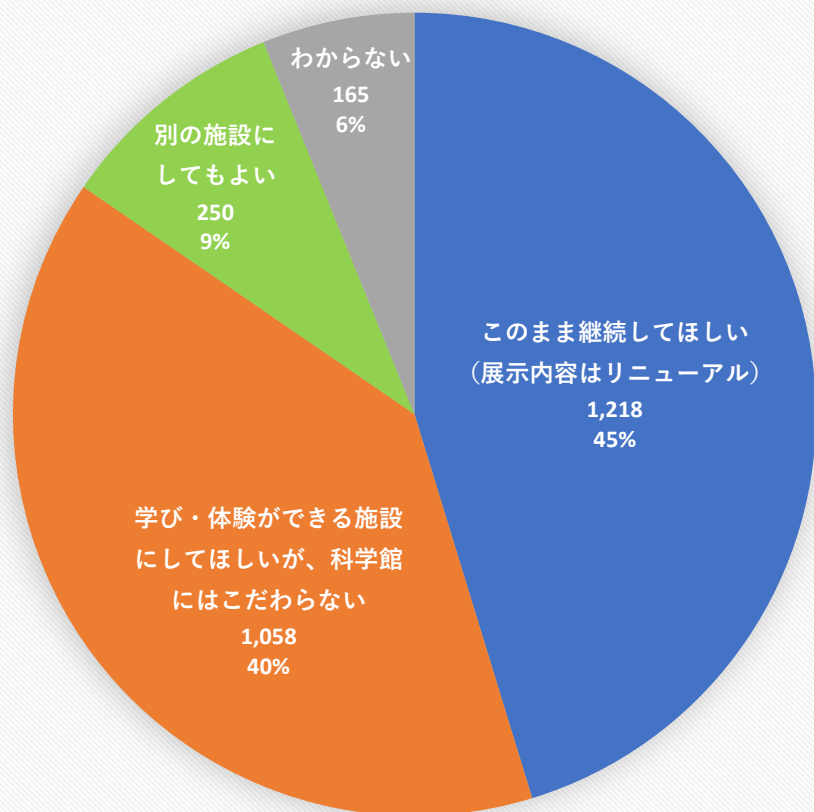


Q7 (Q4で「はい」の人のみ) 主に誰と利用するか



<その他(自由記載)の回答 ※一部>
 ・子どもが小さかった頃に利用した
 ・親戚
 ・ペット

Q8 (Q4で「はい」の人のみ) 子ども科学館の今後についてどのように考えるか

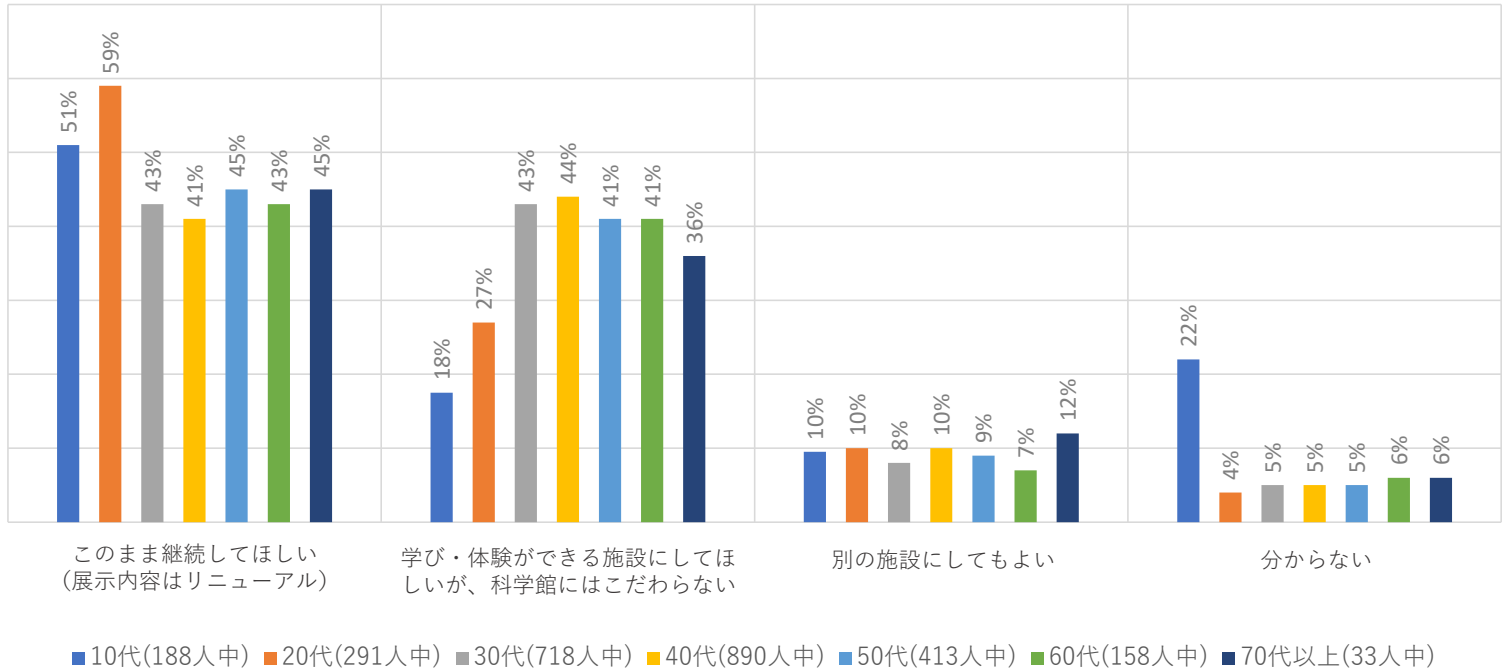


<子ども科学館>

- ・「このまま継続してほしい(展示内容はリニューアル)」が最多**45%**
- ・次点の「学び・体験ができる施設にしてほしいが、科学館にはこだわらない」は**40%**
- ・「別の施設にしても良い」は全体の**9%**

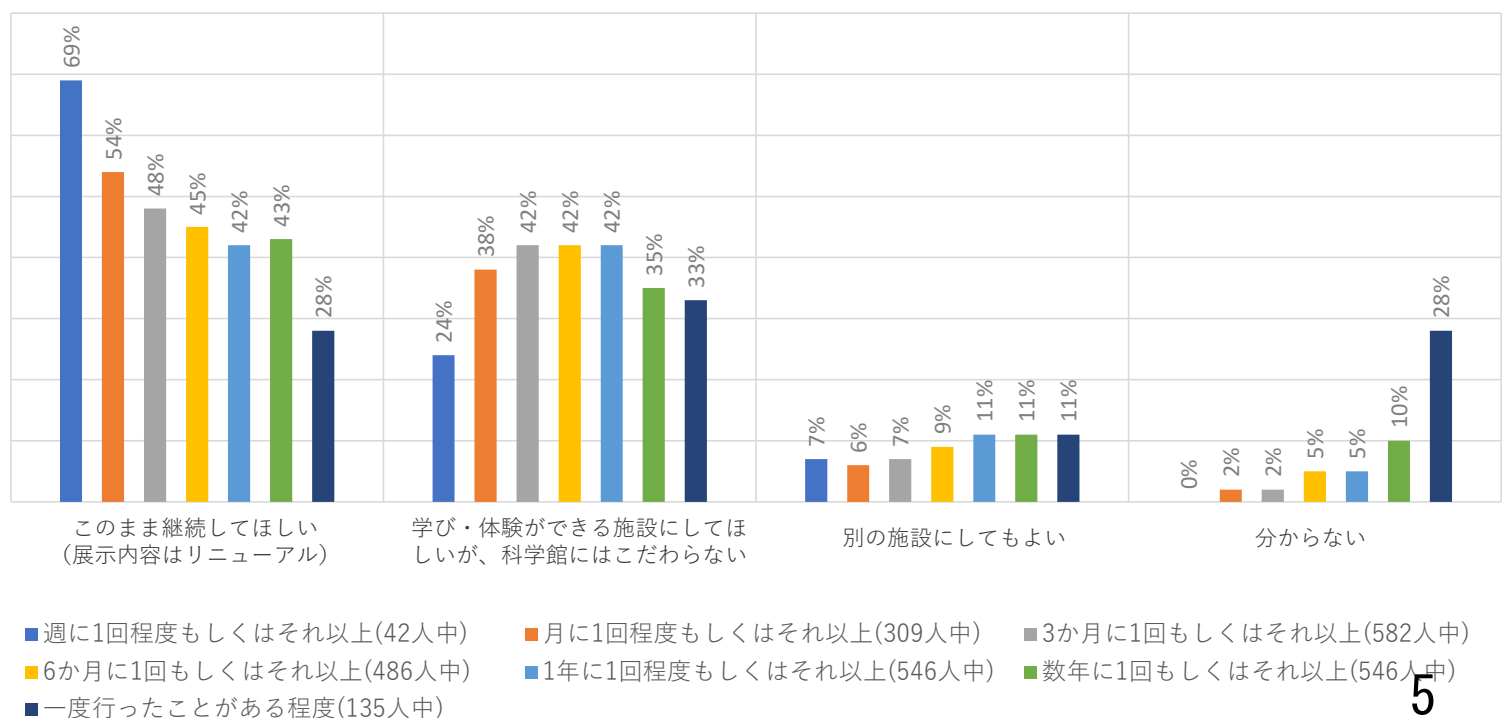
- ・10代・20代で、「このまま継続してほしい」の割合が高い。
- ・30代～50代は、「このまま継続してほしい」と「学び・体験ができる施設にしてほしいが、科学館にはこだわらない」の割合が同程度となっている。

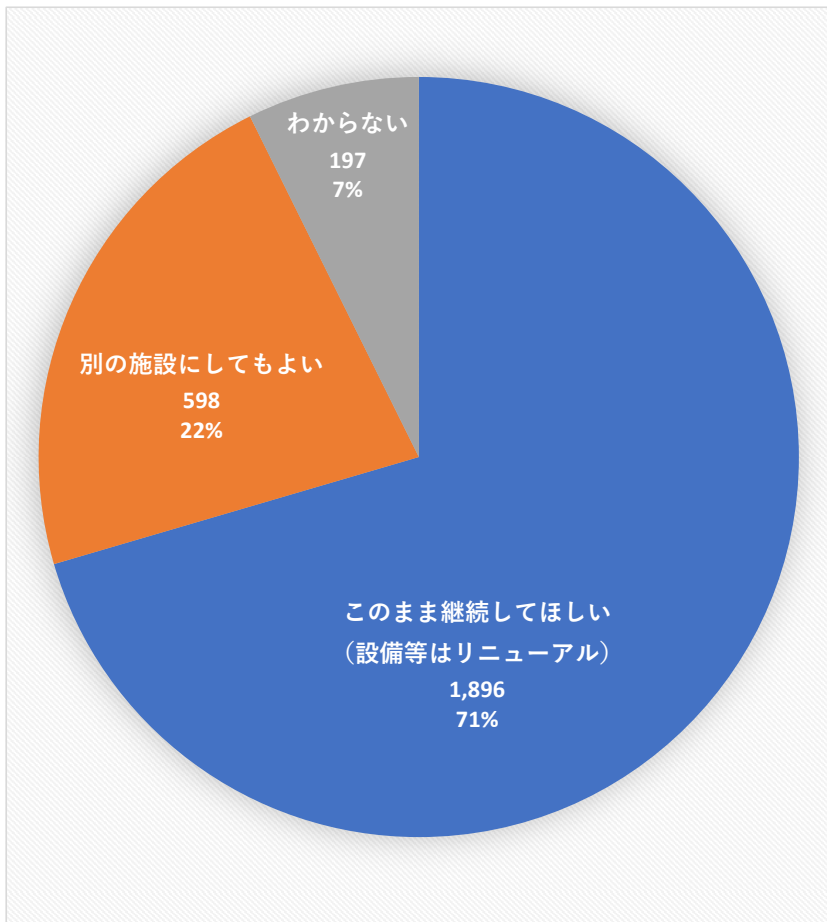
年齢層別



- ・利用頻度が高いほど、継続希望の割合が高い。
- ・3か月～1年に1回程度の利用者は、「継続希望」と「学び・体験ができれば科学館にはこだわらない」の割合が同程度。

利用頻度別





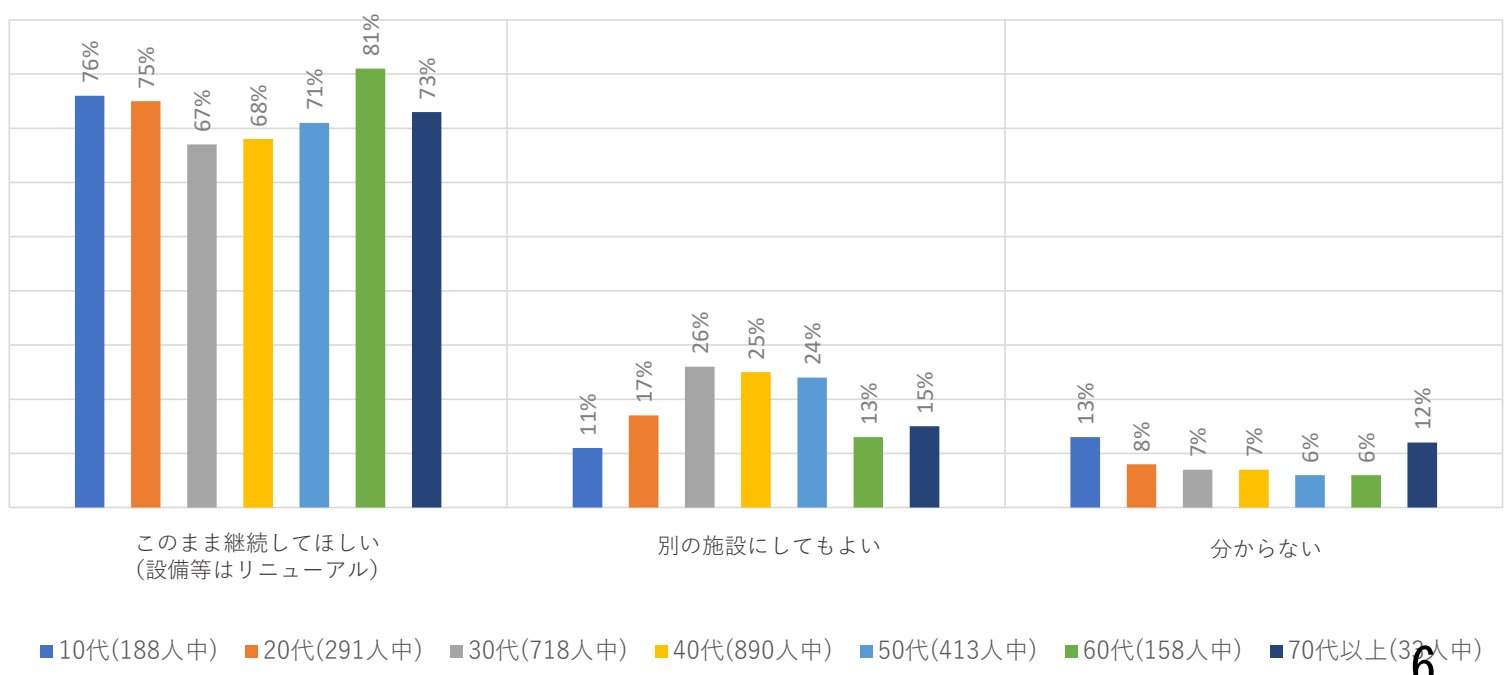
<プラネタリウム>

- ・「このまま継続してほしい (設備等はリニューアル)」が**71%**
- ・「別の施設にしてもよい」は**22%**

詳細データ Q9「プラネタリウムの今後についてどのように考えるか」の回答別内訳

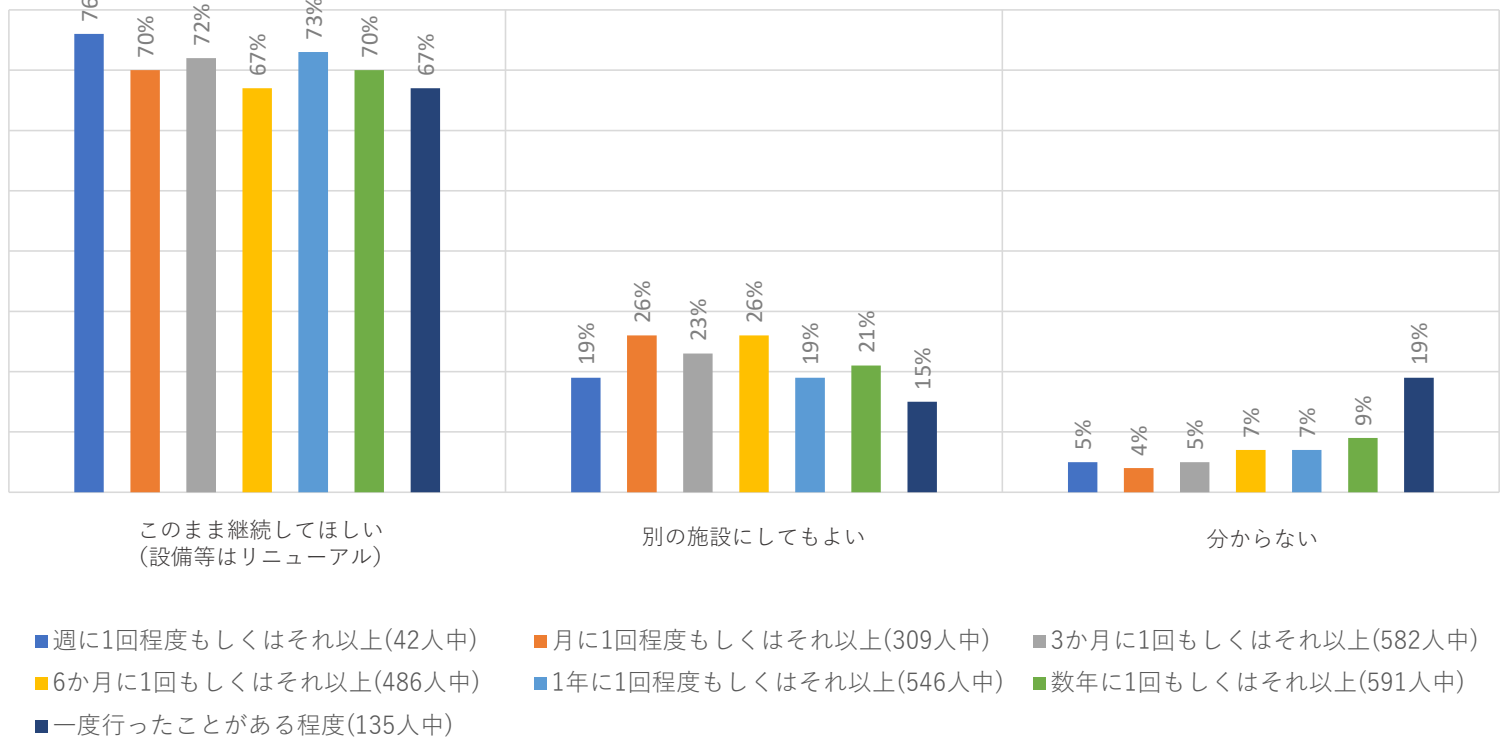
- ・全年代を通して「このまま継続してほしい」の割合が高い。
- ・Q12、Q15 (自由記述) の回答にも、県内にプラネタリウム施設が少ないため維持してほしいとの声がある。

年齢層別

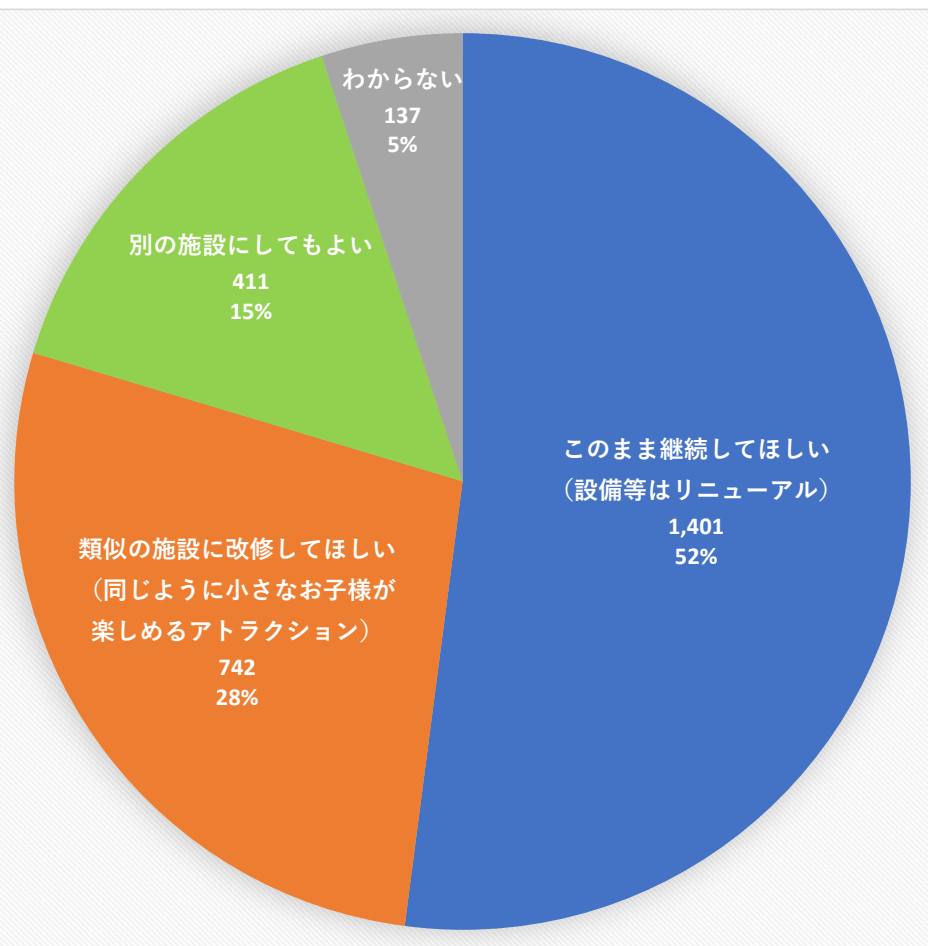


・利用頻度の多寡に関わらず、継続希望の割合が高い。

利用頻度別



Q10 (Q4で「はい」の人のみ) 吉野川めぐりの今後についてどのように考えるか

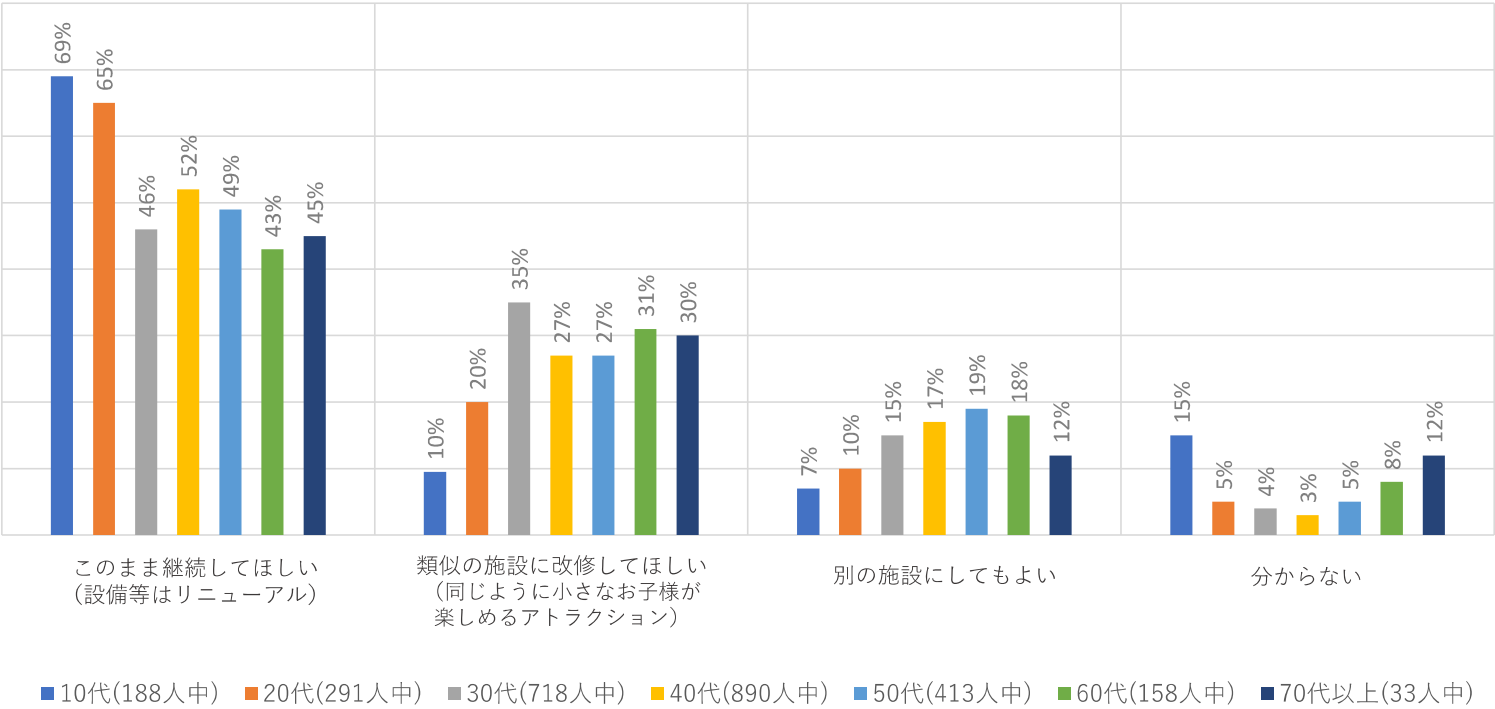


<吉野川めぐり>

- ・「このまま継続してほしい (設備等はリニューアル)」が最多**52%**
- ・「類似の施設に改修してほしい (同じように小さなお子様が楽しめるアトラクション)」は**28%**
- ・「別の施設にしてもよい」は**15%**

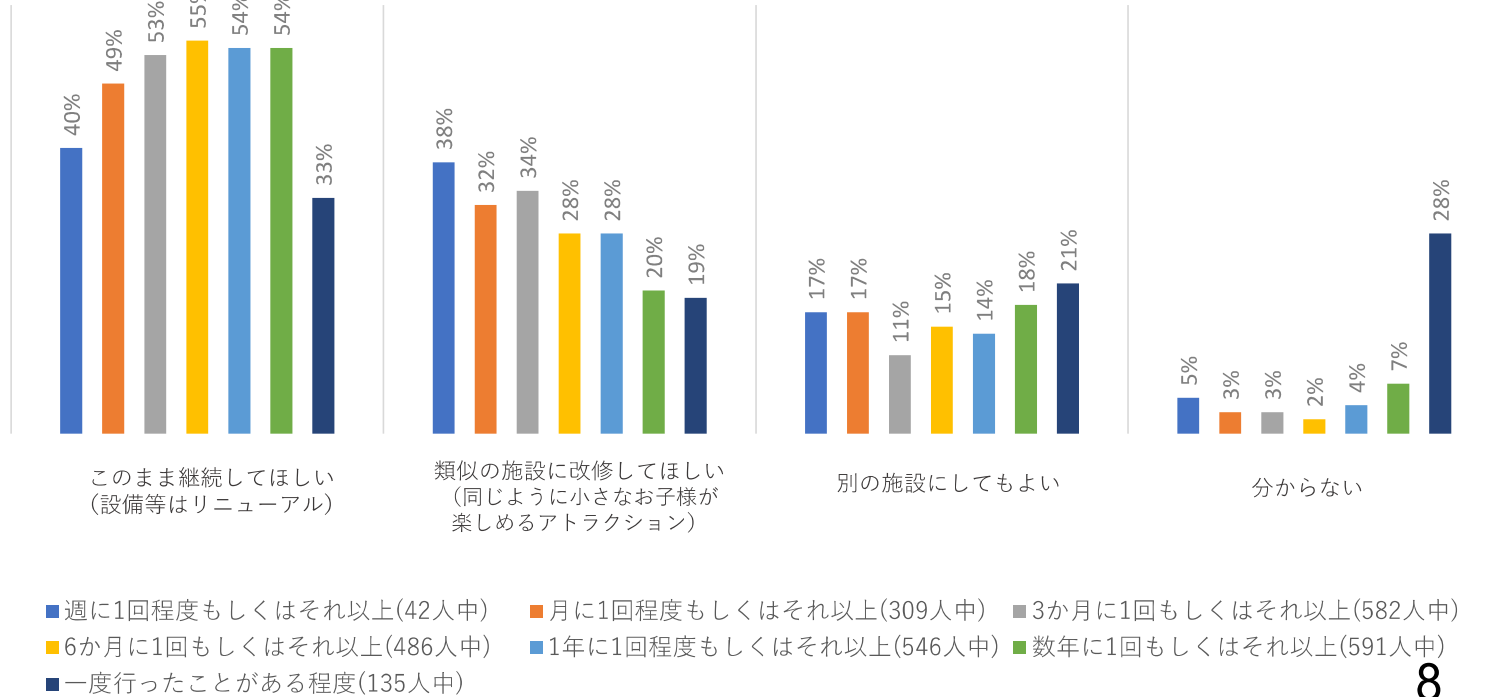
・全年代を通して「このまま継続してほしい」の割合が高い。
 ・特に10代・20代では、次点の「類似の施設に改修してほしい（同じように小さなお子様が楽しめるアトラクション）」に大きく差をつけ、「継続希望」の割合が高い。

年齢層別

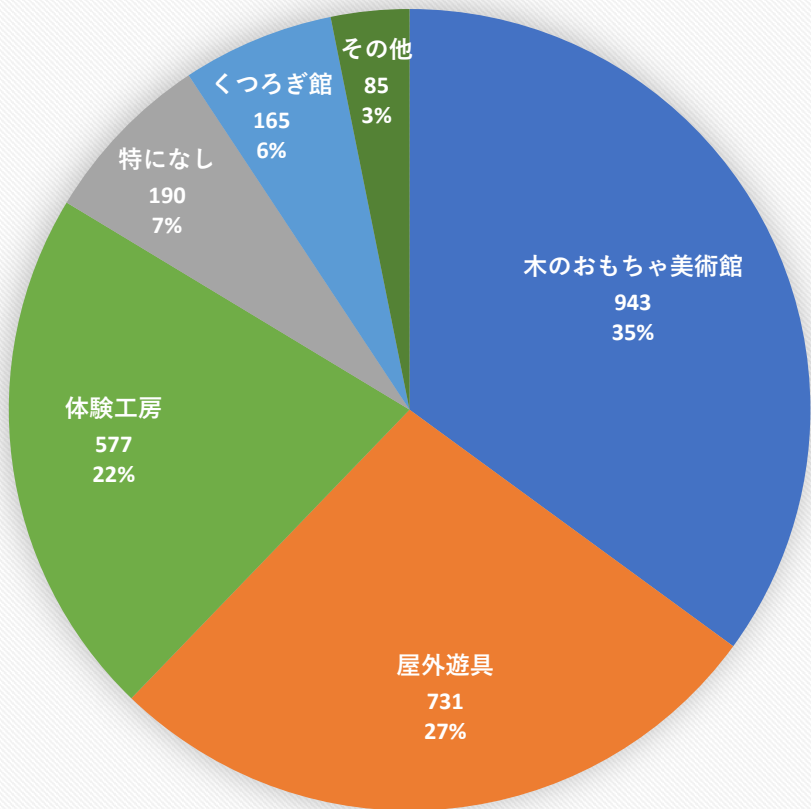


・全世代とも「このまま継続してほしい（設備等はりニューアル）」の割合が高い。

利用頻度別



Q11 (Q4で「はい」の人のみ) その他の施設で特に評価している(今後も続けてほしい)施設



- ・木のおもちゃ美術館の評価が最多**35%**
- ・次いで屋外遊具が**27%**
- ・体験工房も**22%**と評価が高く、Q12(自由記述式)の回答にも、季節ごとの工作メニューを評価する声がある。

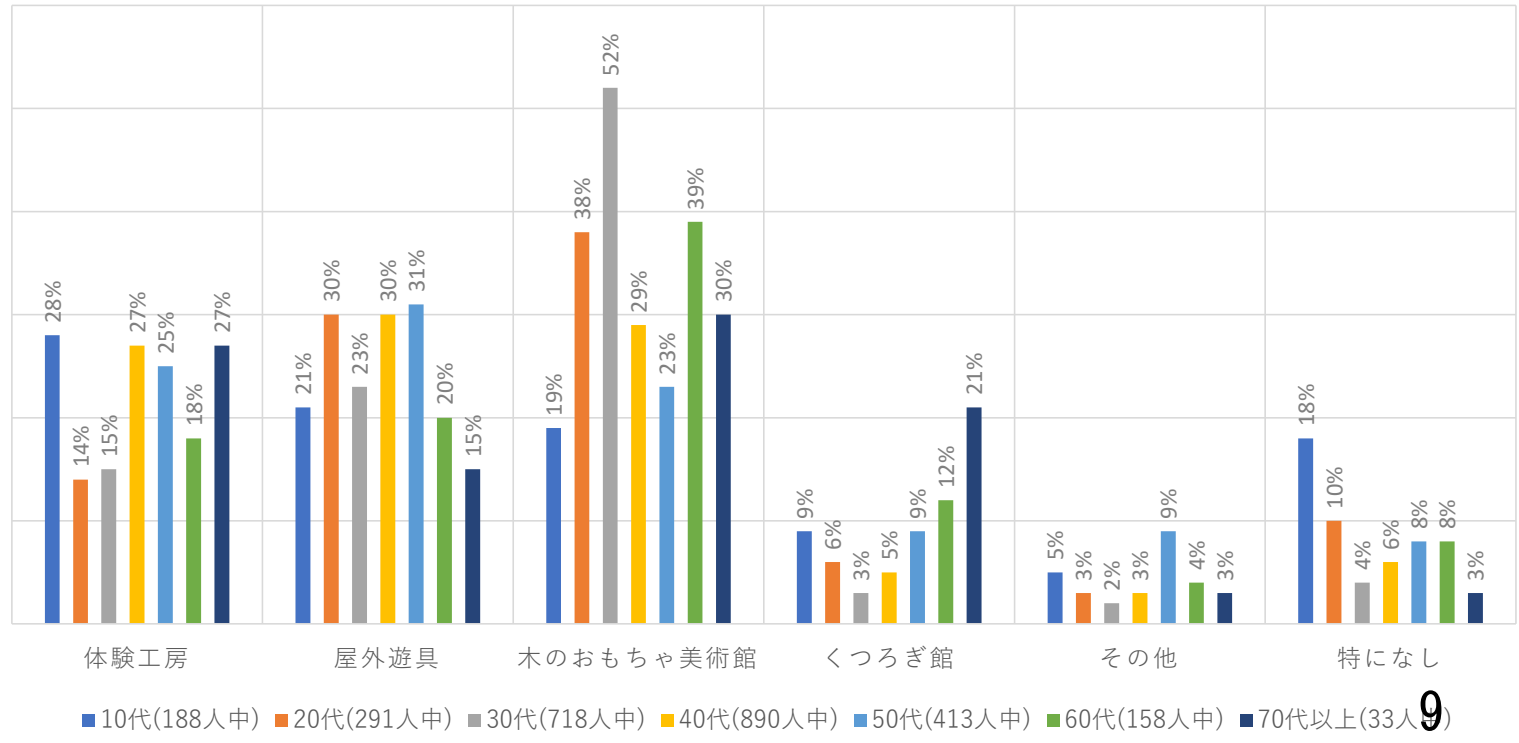
<その他(自由記載)の回答 ※一部>

- ・芝生広場
- ・風車の丘
- ・じゃぶじゃぶ池
- ・園内全ての施設

詳細データ Q11「その他特に評価する(今後も継続してほしい)施設」の回答別内訳

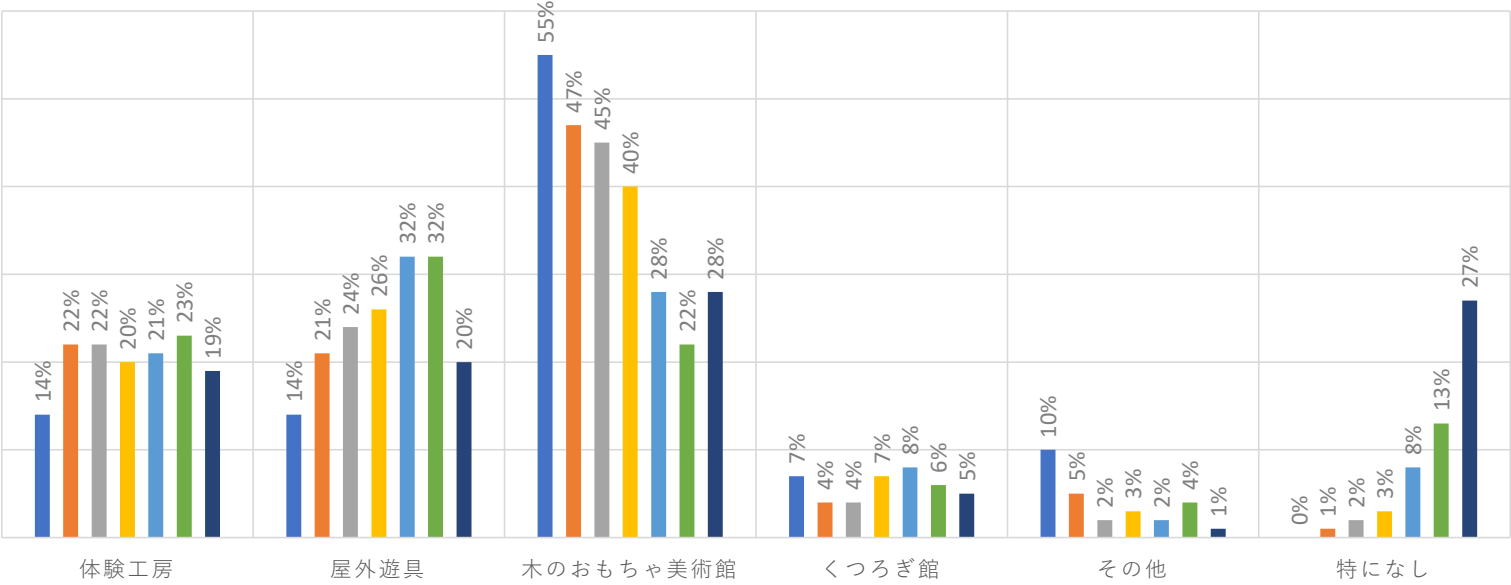
・20~30代の未就学児の親世代及び60代(孫と利用)から、木のおもちゃ美術館を評価する声が多い。

年齢層別



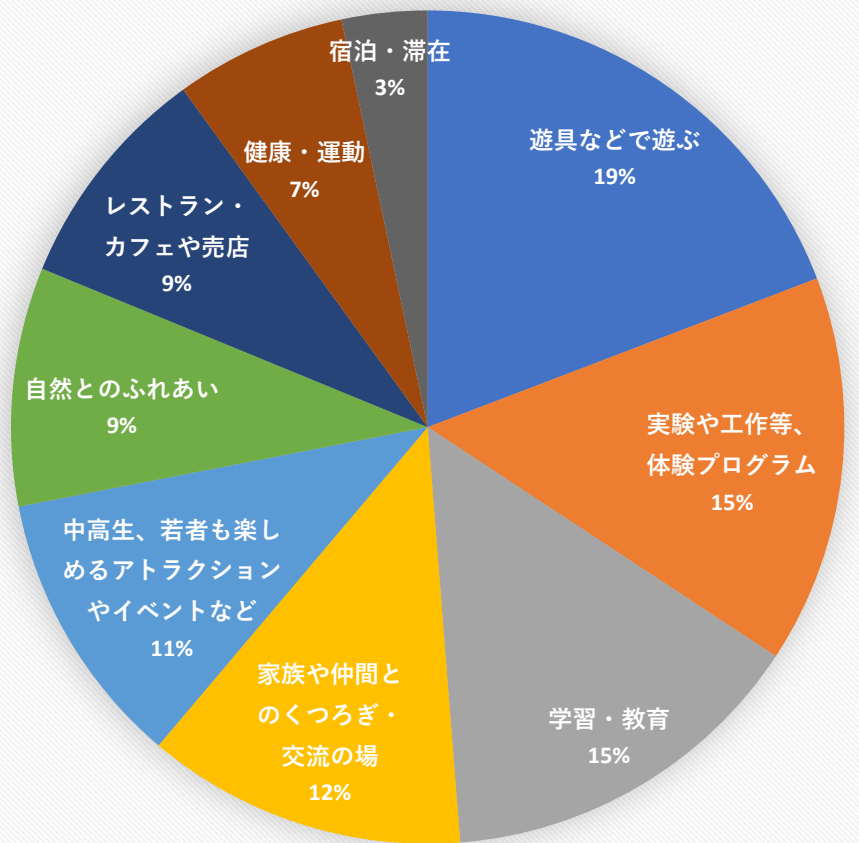
・利用頻度の高い層は子育て世代が多いため、小さな子ども向けである木のおもちゃ美術館の評価が特に高い。

利用頻度別



■ 週に1回程度又はそれ以上 (42人中) ■ 月に1回程度又はそれ以上 (309人中) ■ 3か月に1回程度又はそれ以上 (582人中)
 ■ 6か月に1回もしくはそれ以上 (486人中) ■ 1年に1回程度又はそれ以上 (546人中) ■ 数年に1回又はそれ以上 (591人中)
 ■ 一度行ったことがある程度 (135人中)

Q13 あすたむらんどにどのような機能が充実していれば利用したいか (3つまで回答可)

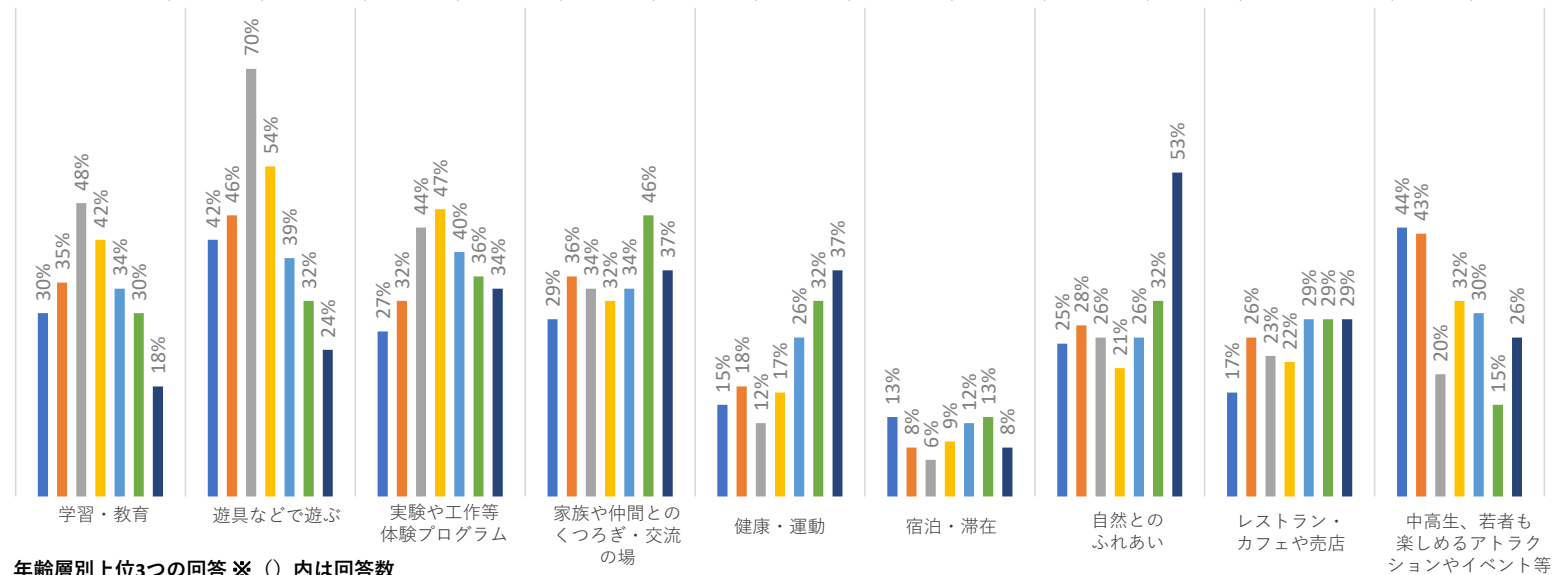


・「遊具などで遊ぶ」が最多**19%**
 ・次いで「実験や工作等体験プログラム」が**15%**
 ・Q12、Q15（自由記述式）の回答にも、より多くの遊具の設置や、工作メニューの増加を求める声がある。

Q13 あすたむらんどにどのような機能が充実していれば利用したいか (3つまで回答可)

年齢層別

■ 10代(214人中) ■ 20代(299人中) ■ 30代(725人中) ■ 40代(902人中) ■ 50代(425人中) ■ 60代(167人中) ■ 70代以上(38人中)



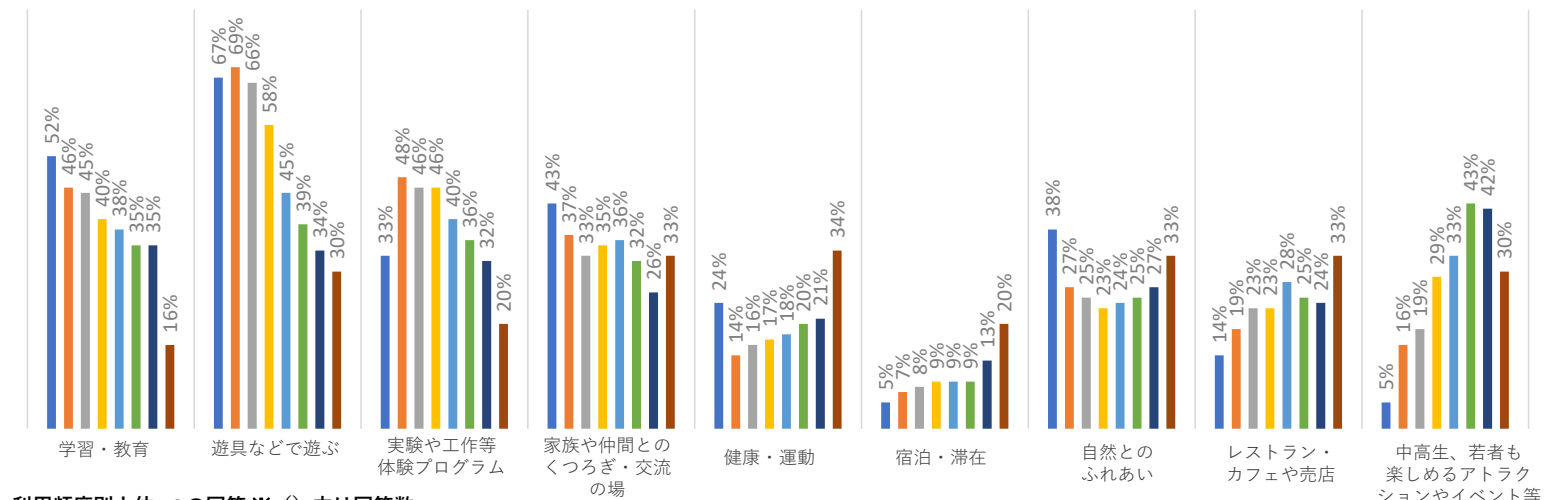
年齢層別上位3つの回答 ※ () 内は回答数

年齢層	1位	2位	3位
10代	若者も楽しめるアトラクションやイベントなど (94)	遊具などで遊ぶ (90)	学習・教育 (65)
20代	遊具などで遊ぶ (138)	若者も楽しめるアトラクションやイベント (128)	家族や仲間とのくつろぎ・交流の場 (108)
30代	遊具などで遊ぶ (504)	学習・教育 (351)	実験や工作等体験 (321)
40代	遊具などで遊ぶ (491)	実験や工作等体験 (425)	学習・教育 (375)
50代	実験や工作等体験プログラム (170)	遊具などで遊ぶ (167)	学習・教育 (144)
60代	家族や仲間とのくつろぎ・交流の場 (77)	実験や工作等体験プログラム (60)	遊具などで遊ぶ 健康・運動 自然とのふれあい (54)
70代以上	自然とのふれあい (20)	家族や仲間とのくつろぎ・交流の場 健康・運動 (14)	実験や工作等体験 (13)

Q13 あすたむらんどにどのような機能が充実していれば利用したいか (3つまで回答可)

利用頻度別

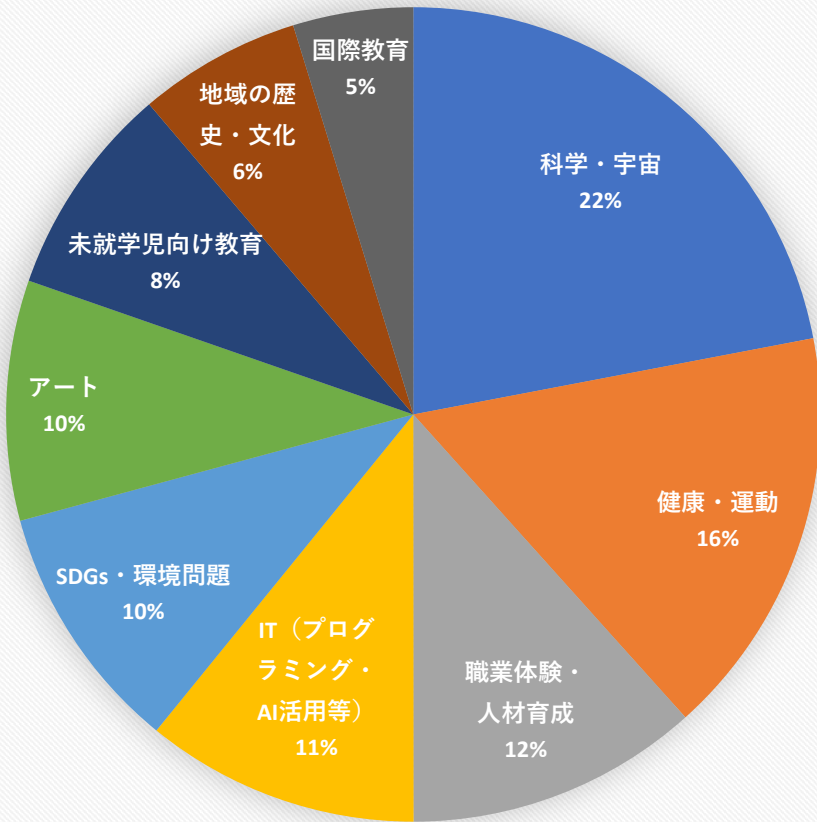
■ 週に1回程度もしくはそれ以上(42人中) ■ 月に1回程度もしくはそれ以上(309人中) ■ 3か月に1回もしくはそれ以上(582人中)
 ■ 6か月に1回もしくはそれ以上(486人中) ■ 1年に1回程度もしくはそれ以上(546人中) ■ 数年に1回もしくはそれ以上(591人中)
 ■ 一度行ったことがある程度(135人中) ■ 利用したことがない(79人中)



利用頻度別上位3つの回答 ※ () 内は回答数

利用頻度	1位	2位	3位
週に1回程度もしくはそれ以上	遊具などで遊ぶ (28)	学習・教育 (22)	家族や仲間とのくつろぎ・交流の場 (18)
月に1回もしくはそれ以上	遊具などで遊ぶ (214)	実験や工作等体験 (147)	学習・教育 (142)
3か月に1回もしくはそれ以上	遊具などで遊ぶ (384)	実験や工作等体験 (267)	学習・教育 (163)
6か月に1回もしくはそれ以上	遊具などで遊ぶ (282)	実験や工作等体験 (222)	学習・教育 (195)
1年に1回もしくはそれ以上	遊具などで遊ぶ (247)	実験や工作等体験 (219)	学習・教育 (210)
数年に1回程度もしくはそれ以上	若者も楽しめるアトラクションやイベント (252)	遊具などで遊ぶ (228)	実験や工作等体験プログラム (214)
一度行ったことがある程度	若者も楽しめるアトラクションやイベント (57)	学習・教育 (47)	遊具などで遊ぶ (46)
利用したことがない	健康・運動 (27)	家族や仲間とのくつろぎ・交流の場 自然とのふれあい レストラン・カフェや売店 (26)	遊具などで遊ぶ 若者も楽しめるアトラクションやイベント (24)

Q14 今後、あすたむらんどは社会教育施設としてどのようなテーマを強化すべきか（3つまで選択可）

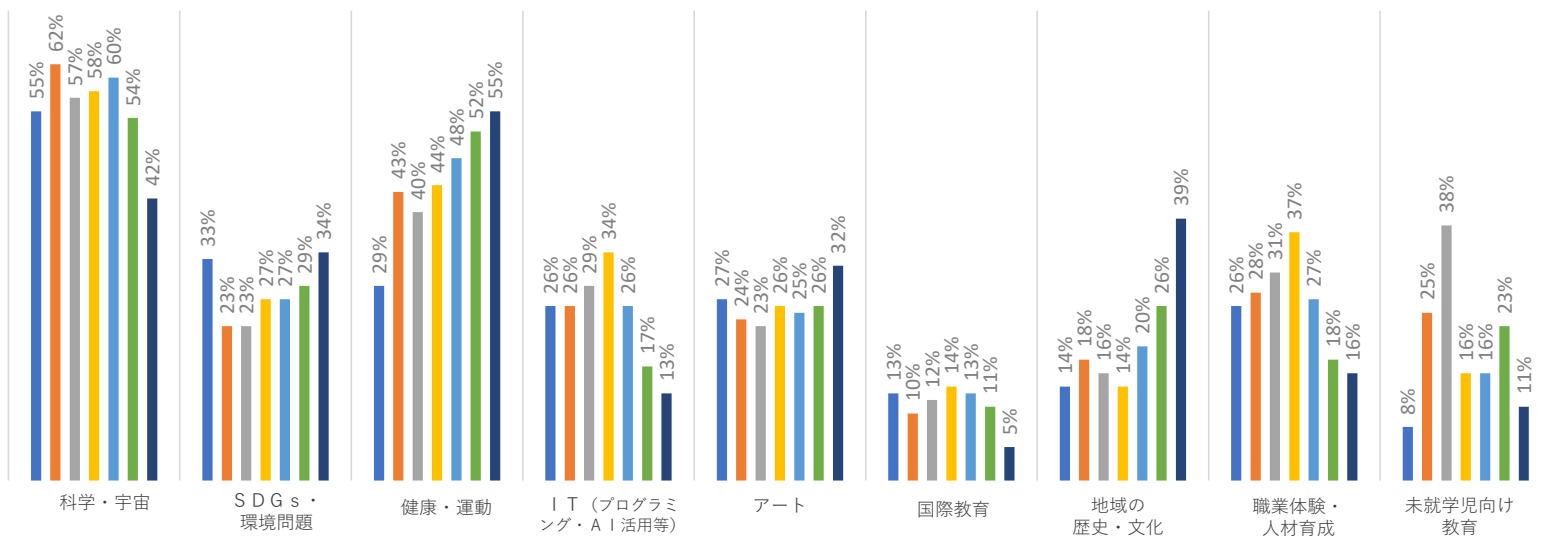


- ・「科学・宇宙」が最多**22%**
- ・次いで「健康・運動」が**16%**
- ・上記の2つは、年齢や利用頻度に関係なく回答数が多い。（次ページ以降参照）

Q14 今後、あすたむらんどは社会教育施設としてどのようなテーマを強化すべきか（3つまで選択可）

年齢層別

■ 10代(214人中) ■ 20代(299人中) ■ 30代(725人中) ■ 40代(902人中) ■ 50代(425人中) ■ 60代(167人中) ■ 70代以上(38人中)



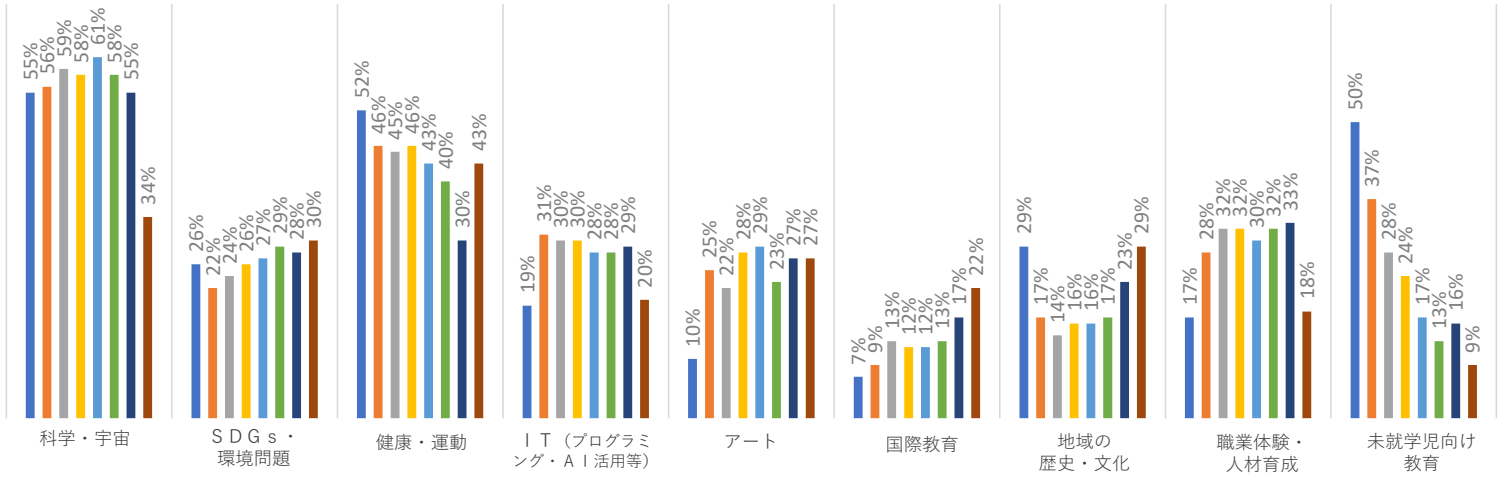
年齢層別
上位3つの回答
※ () 内は回答数

	1位	2位	3位
10代	科学・宇宙 (118)	SDGs・環境問題 (70)	健康・運動 (61)
20代	科学・宇宙 (185)	健康・運動 (130)	職業体験・人材育成 (83)
30代	科学・宇宙 (414)	健康・運動 (289)	未就学児向け教育 (273)
40代	科学・宇宙 (526)	健康・運動 (400)	職業体験・人材育成 (335)
50代	科学・宇宙 (253)	健康・運動 (203)	SDGs・環境問題 (115)
60代	科学・宇宙 (91)	健康・運動 (87)	SDGs・環境問題 (48)
70代以上	健康・運動 (21)	科学・宇宙 (16)	地域の歴史・文化 (15)

Q14 今後、あすたむらんどは社会教育施設としてどのようなテーマを強化すべきか（3つまで選択可）

利用頻度別

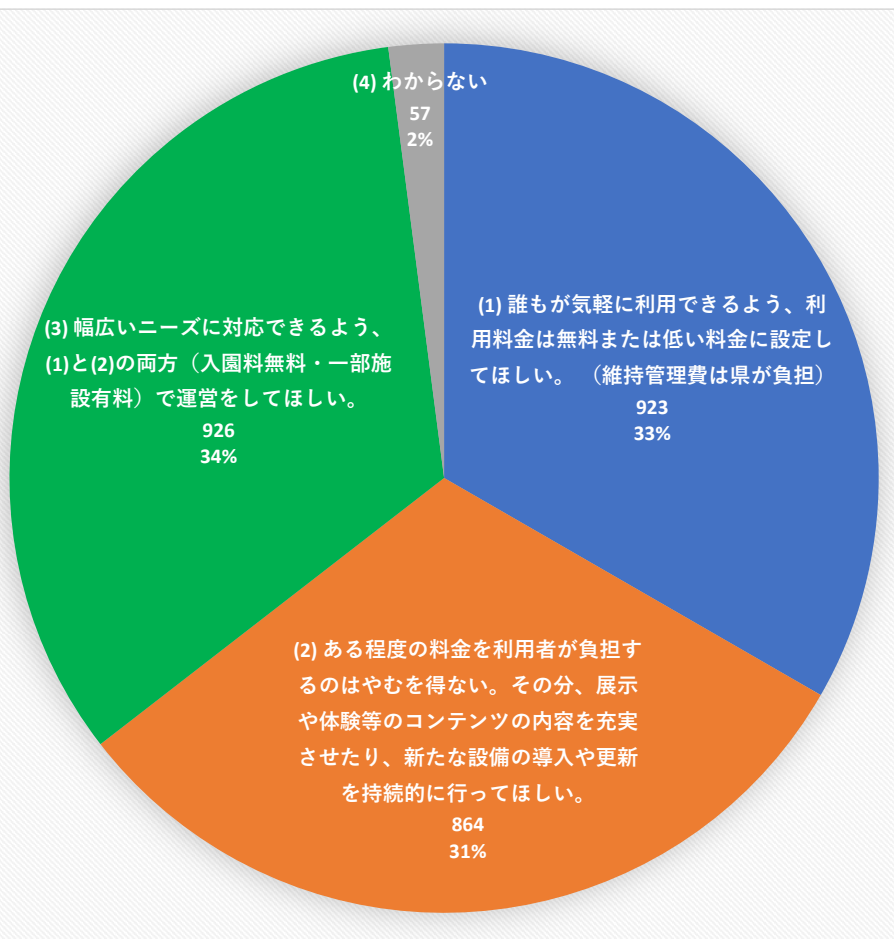
- 週に1回程度もしくはそれ以上(42人中)
- 月に1回程度もしくはそれ以上(309人中)
- 3か月に1回もしくはそれ以上(582人中)
- 6か月に1回もしくはそれ以上(486人中)
- 1年に1回程度もしくはそれ以上(546人中)
- 数年に1回もしくはそれ以上(591人中)
- 一度行ったことがある程度(135人中)
- 利用したことがない(79人中)



利用頻度別
上位3つの回答
※ () 内は回答数

	1位	2位	3位
週に1回程度もしくはそれ以上	科学・宇宙 (23)	健康・運動 (22)	未就学児向け教育 (21)
月に1回もしくはそれ以上	科学・宇宙 (173)	健康・運動 (141)	未就学児向け教育 (114)
3か月に1回もしくはそれ以上	科学・宇宙 (346)	健康・運動 (261)	職業体験・人材育成 (185)
6か月に1回もしくはそれ以上	科学・宇宙 (282)	健康・運動 (224)	職業体験・人材育成 (154)
1年に1回もしくはそれ以上	科学・宇宙 (334)	健康・運動 (231)	職業体験・人材育成 (165)
数年に1回程度もしくはそれ以上	科学・宇宙 (344)	健康・運動 (237)	職業体験・人材育成 (192)
一度行ったことがある程度	科学・宇宙 (74)	職業体験・人材育成 (44)	IT (プログラミング・AI活用等) (39)
利用したことがない	健康・運動 (34)	科学・宇宙 (27)	SDGs・環境問題 (24)

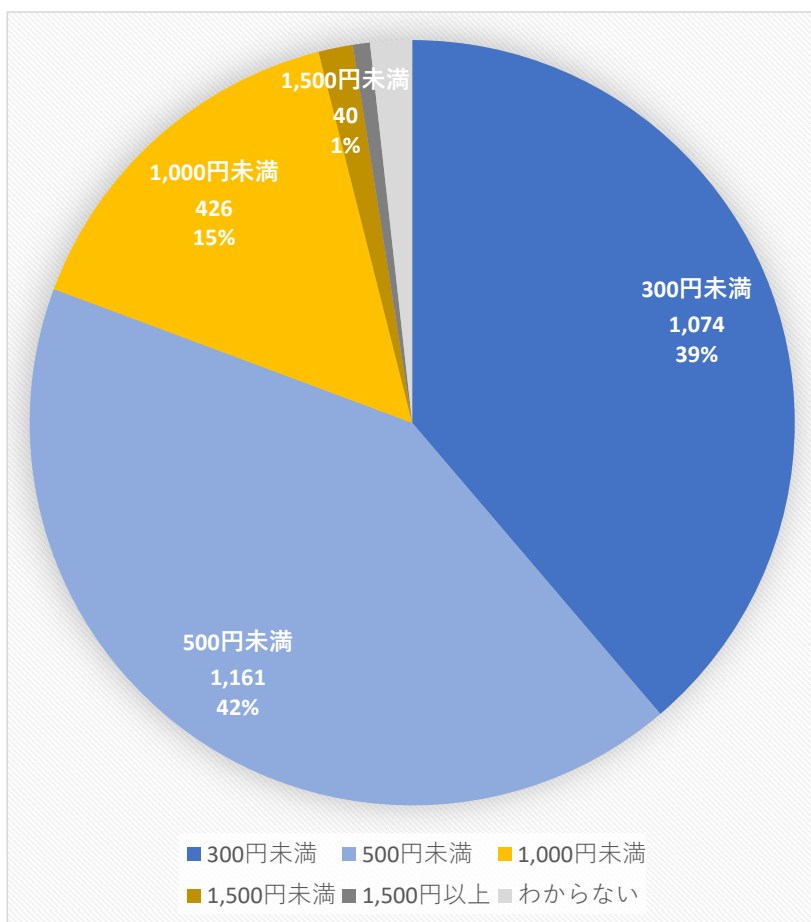
Q16 あすたむらんど施設利用料について、どのような考えに近いか



・「(1) 幅広いニーズに対応できるよう、(1)と(2)の両方(入園料無料・一部施設有料)で運営をしてほしい」が最多33%

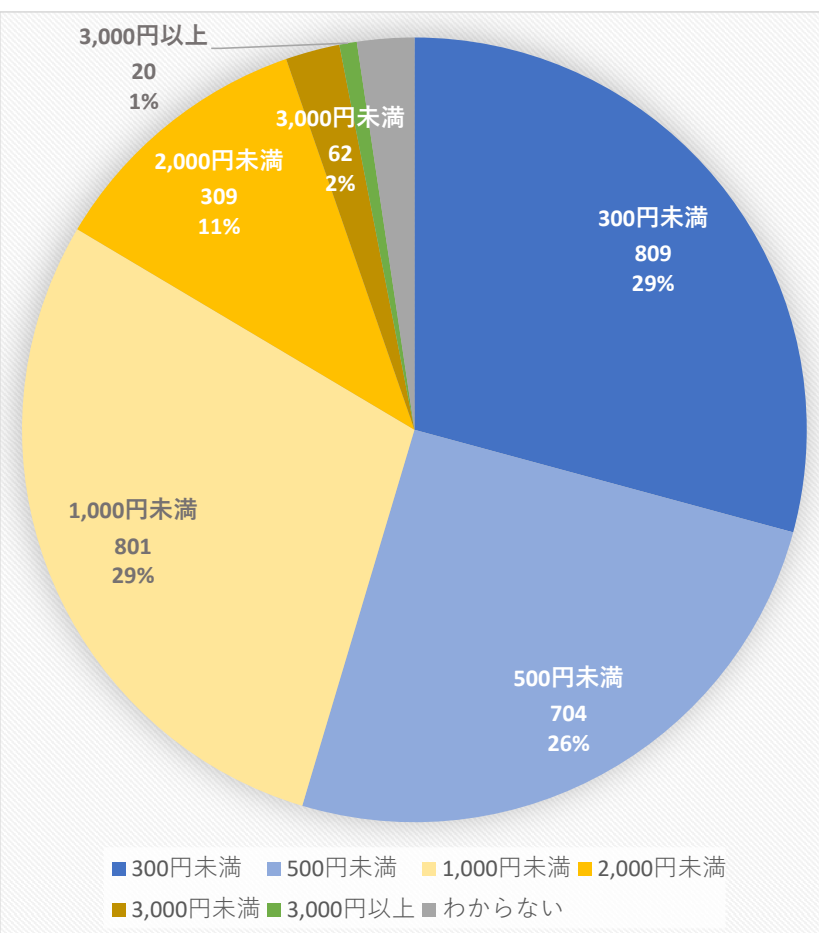
・ただし、(1)～(3)の回答数の差は拮抗

Q17 あすたむらんの料金設定が、「無料で入園できるが、一部の有料施設を利用する度に料金を支払う」場合、有料施設の1回の利用料は、どの程度の金額が適切か ※大人（高校生以上）料金を想定して回答

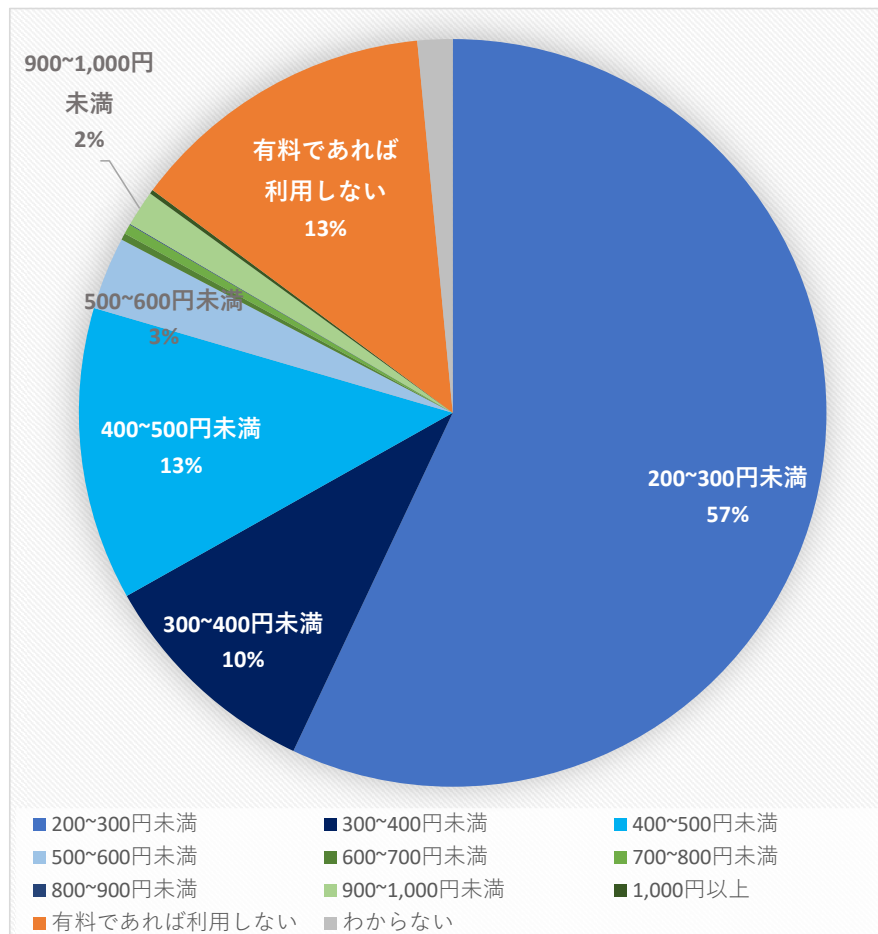


- ・「500円未満」が最多42%
- ・次いで「300円未満」が39%
- ・低価格を希望する声が多い

Q18 あすたむらんの料金設定が、「入園料が必要だが、園内のどの施設も一日自由に利用できる」場合、入園料はどの程度の金額が適切か ※大人（高校生以上）料金を想定して回答



- ・「300円未満」が最多29%（809件）
- ・次いで「1,000円未満」が29%（801件）
- ・「500円未満」は26%（704件）
- ・入園料制にした場合でも、低価格を希望する声が多い



- ・「200～300円未満」が最多57%
- ・Q12、Q15（自由記述式）の回答にも、現状のまま、駐車場無料の継続を求める意見がある。

詳細データ Q4「はい」の内訳 (2,691名)

年代別

- ・ 10代：188名（うち男性 60名、女性119名、無回答 9名）
- ・ 20代：291名（うち男性 75名、女性207名、無回答 9名）
- ・ 30代：718名（うち男性194名、女性516名、無回答 8名）
- ・ 40代：890名（うち男性200名、女性673名、無回答17名）
- ・ 50代：413名（うち男性168名、女性231名、無回答14名）
- ・ 60代：158名（うち男性 84名、女性 73名、無回答 1名）
- ・ 70代： 32名（うち男性 22名、女性 10名）
- ・ 80代以上：1名（男性）

地域別

- ・ 徳島市：1,221名/1,252
- ・ 鳴門市：151名/151
- ・ 小松島市：62名/63
- ・ 阿南市：186名/197
- ・ 吉野川市：160名/160
- ・ 阿波市：72名/72
- ・ 美馬市：118名/119
- ・ 三好市：14名/15
- ・ 勝浦町：9名/9
- ・ 上勝町：1名/1
- ・ 佐那河内村：7名/7
- ・ 石井町：79名/81
- ・ 神山町：7名/10
- ・ 那賀町：32名/44
- ・ 牟岐町：3名/3
- ・ 美波町：14名/15
- ・ 海陽町：7名/8
- ・ 松茂町：41名/42
- ・ 北島町：97名/97
- ・ 藍住町：191名/191
- ・ 板野町：77名/77
- ・ 上板町：50名/50
- ・ つるぎ町：15名/15
- ・ 東みよし町：20名/20
- ・ 県外（四国地方）：19名/19
- ・ 県外（中国地方）：4名/6
- ・ 県外（近畿地方）：15名/23
- ・ 県外（その他）：19名/23

詳細データ Q4で「いいえ」を選択した人（79名）のみ抽出

年代別

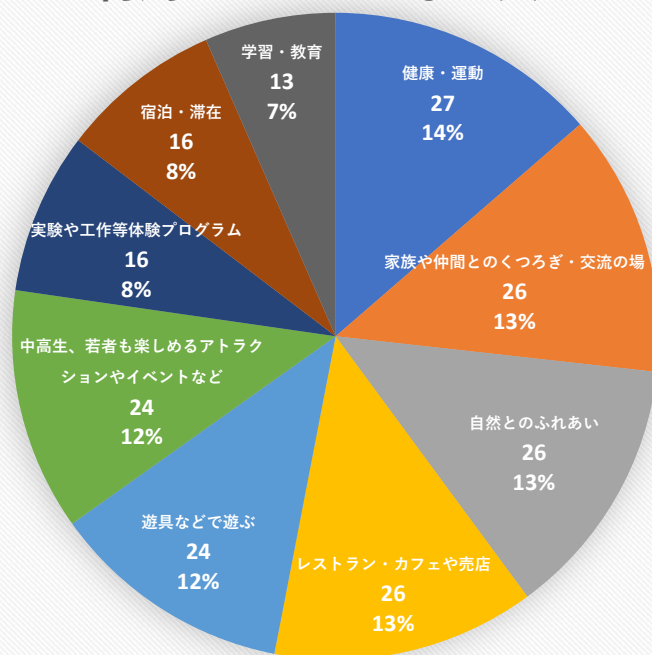
- ・ 10代：26名（うち男性16名、女性10名）
- ・ 20代：8名（うち男性1名、女性7名）
- ・ 30代：7名（うち男性4名、女性2名、無回答1名）
- ・ 40代：12名（うち男性7名、女性4名、無回答1名）
- ・ 50代：12名（うち男性7名、女性5名）
- ・ 60代：9名（うち男性5名、女性4名）
- ・ 70代：4名（うち男性2名、女性2名）
- ・ 80代以上：1名（男性）

徳島市	31	10代	5	男性	3	神山町	3	10代	3	女性	3	
				女性	2		石井町	2	30代	1	女性	1
		20代	5	女性	5				50代	1	女性	1
		30代	3	男性	2		那賀町	12	10代	11	男性	8
				無回答	1				40代	1	女性	3
		40代	4	男性	3				40代	1	女性	1
				女性	1		美波町	1	40代	1	女性	1
		50代	5	男性	4		海陽町	1	10代	1	男性	1
		女性	1	松茂町	1	20代	1	女性	1			
60代	5	男性	3	県外(四国地方)	1	30代	1	男性	1			
		女性	2	県外(中国地方)	1	40代	1	男性	1			
70代	4	男性	2	県外(近畿地方)	8	30代	1	無回答	1			
		女性	2			40代	1	女性	1			
小松島市	1	50代	1			男性	1	50代	3	男性	1	
		男性	1			60代	3	女性	2			
阿南市	11	10代	6	男性	4	県外(その他)	4	20代	2	男性	1	
				女性	2			30代	1	女性	1	
		40代	3	男性	2			40代	1	男性	1	
				無回答	1							
		女性	1	美馬市	1	50代	1	男性	1			
		女性	1	三好市	1	80代以上	1	男性	1			
		女性	1									

詳細データ Q13「あすたむらんどにどのような機能が充実していれば利用したいか」 ※Q4で「いいえ」を選択した人（79名）のみ抽出

利用したことがない人

・ 各項目の差は数%

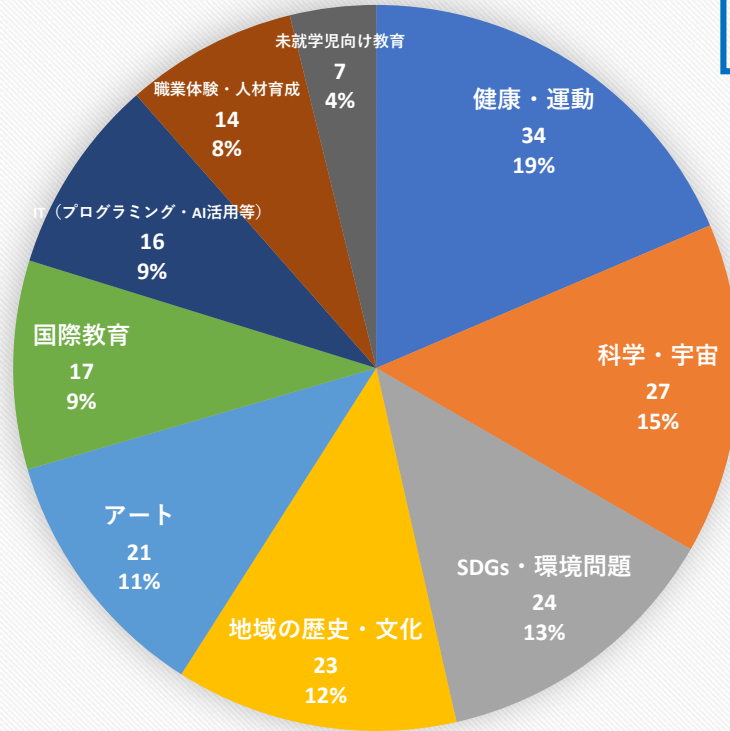


- 健康・運動
- 自然とのふれあい
- 遊具などで遊ぶ
- 実験や工作等体験プログラム
- 学習・教育
- 家族や仲間とのくつろぎ・交流の場
- レストラン・カフェや売店
- 中高生、若者も楽しめるアトラクションやイベントなど
- 宿泊・滞在

詳細データ Q14 「今後、あすたむらんどは社会教育施設としてどのようなテーマを強化すべきか」
 ※Q4で「いいえ」を選択した人（79名）のみ抽出

利用したことがない人

・各項目の差は小さいが、「健康・運動」が最多19%

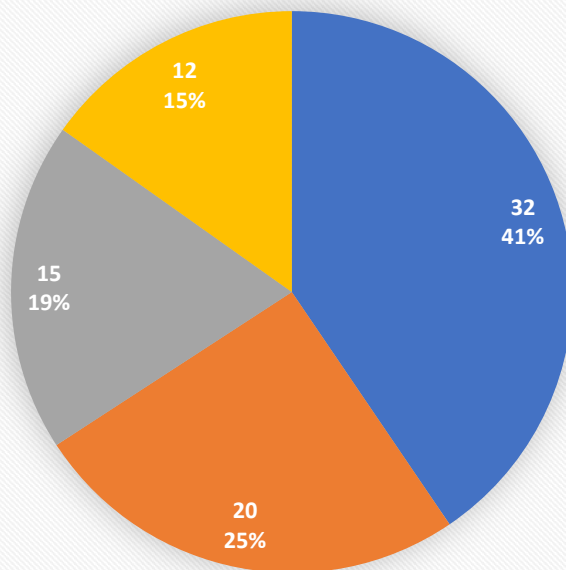


- 健康・運動
- 科学・宇宙
- SDGs・環境問題
- 地域の歴史・文化
- アート
- 国際教育
- IT（プログラミング・AI活用等）
- 職業体験・人材育成
- 未就学児向け教育

詳細データ Q16 「あすたむらんど施設の利用率について、どのような考えに近いか」
 ※Q4で「いいえ」を選択した人（79名）のみ抽出

利用したことがない人

「(1) 誰もが気軽に利用できるよう、利用料金は無料または低い料金に設定してほしい。（維持管理費は県が負担）」が最多41%

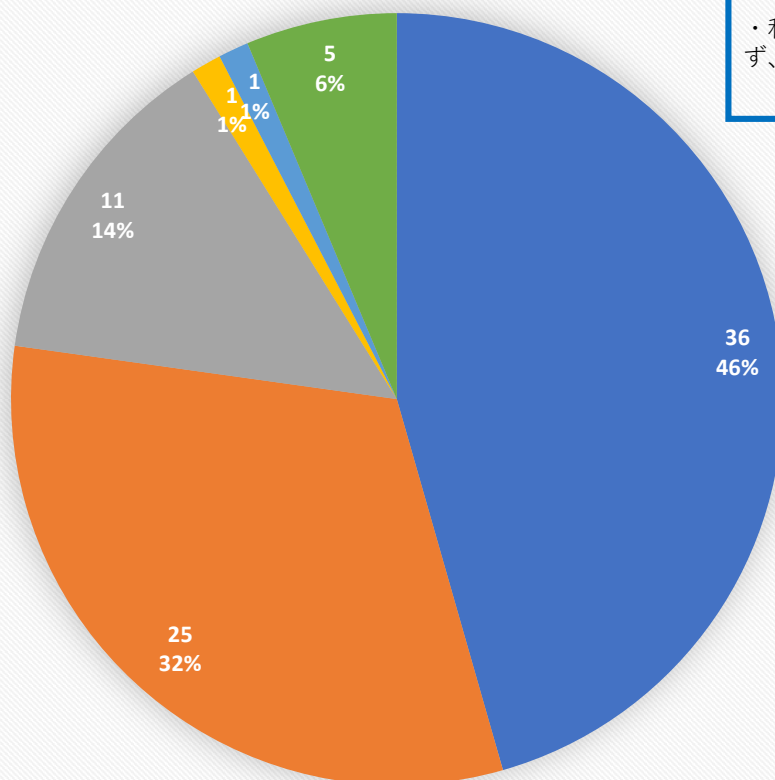


- (1)誰もが気軽に利用できるよう、利用料金は無料または低い料金に設定してほしい。（維持管理費は県が負担）
- (2) ある程度の料金を利用者が負担するのはやむを得ない。その分、展示や体験等のコンテンツの内容を充実させたり、新たな設備の導入や更新を持続的に行ってほしい。
- (3) 幅広いニーズに対応できるよう、(1)と(2)の両方（入園料無料・一部施設有料）で運営をしてほしい。
- (4) わからない

Q17 あすたむらんの料金設定が、「無料で入園できるが、一部の有料施設を利用する度に料金を支払う」場合、有料施設の1回の利用料は、どの程度の金額が適切か ※大人（高校生以上）料金を想定して回答

利用したことがない人

- ・「300円未満」が最多46%
- ・利用者・利用したことがない人に関わらず、低価格を求める声が多い

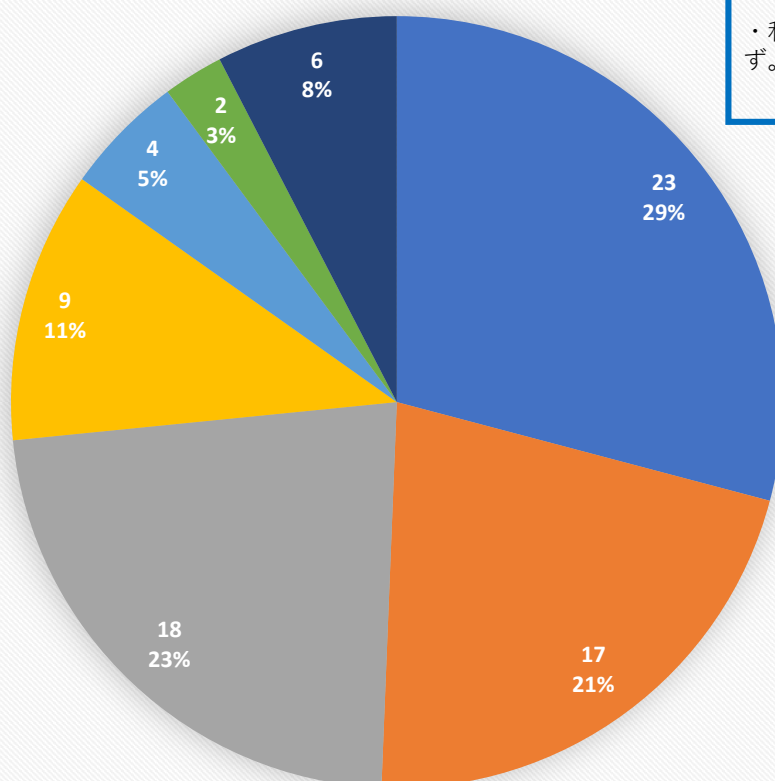


■ 300円未満 ■ 500円未満 ■ 1,000円未満 ■ 1,500円未満 ■ 1,500円以上 ■ わからない

Q18 あすたむらんの料金設定が、「入園料が必要だが、園内のどの施設も一日自由に利用できる」場合、入園料はどの程度の金額が適切か ※大人（高校生以上）料金を想定して回答

利用したことがない人

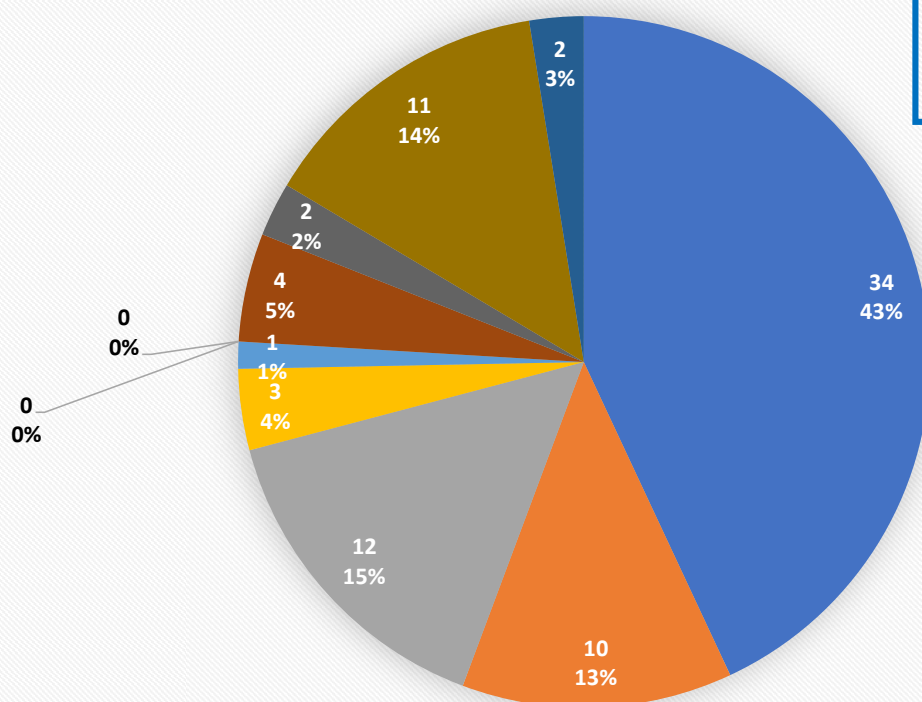
- ・「300円未満」が最多29%
- ・利用者・利用したことがない人に関わらず、低価格を求める声が多い



■ 300円未満 ■ 500円未満 ■ 1,000円未満 ■ 2,000円未満 ■ 3,000円未満 ■ 3,000円以上 ■ わからない

利用したことがない人

・「200~300円未満」が最多43%
・利用者・利用したことがない人に関わらず、低価格を求める声が多い

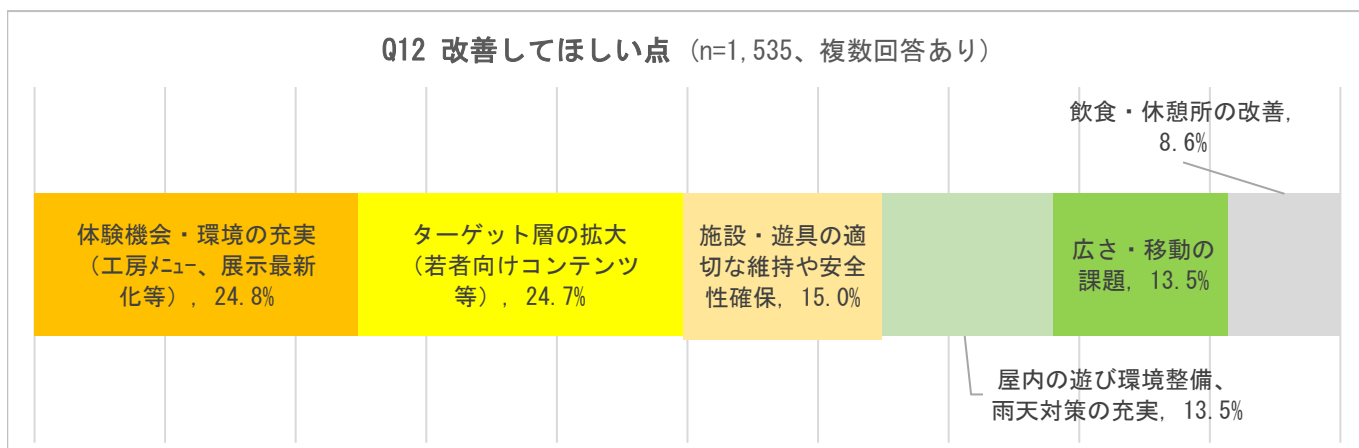


- 200~300円未満
- 300~400円未満
- 400~500円未満
- 500~600円未満
- 600~700円未満
- 700~800円未満
- 800~900円未満
- 900~1,000円未満
- 1,000円以上
- 有料であれば利用しない
- わからない

あすたむらんどのある方見直しに関する県民アンケート 自由記述の概要

Q12 あすたむらんど施設について、評価している点や改善してほしい点などがあれば具体的に教えてください。

(1) カテゴリ別



(2) 年代別の主な傾向

	評価している点	改善してほしい点
10代	・既存施設、遊具の価値 (科学館、吉野川めぐり等)	・アスレチックや遊具の数の増設 ・若者が楽しめるイベントや施設
20代	・無料・低料金で手軽に利用できること。 ・既存施設の価値 (科学館、吉野川めぐり等)	・大人向けコンテンツの拡充 (イルミネーション、デートコースとしての活用等) ・既存施設の継続的な維持、メンテナンス
30代	・既存施設の価値 (科学館、木のおもちゃ美術館等) ・子どもが体を動かせる場所の多さ ・教育的価値：子どもの学習・教育に非常に良い。	・体験工房のメニューの充実 ・飲食サービスの充実 ・既存施設的环境改善 (体験工房、休憩スペース、雨除け、ベビールーム等)
40代	・無料・低料金で手軽に利用できること。 ・教育的価値：子どもの学習・教育に非常に良い。 ・多様なイベント	・中高生向けイベント等、大人も子どもも楽しめるイベント・体験の充実 ・既存施設の老朽化対策
50代	・思い出と次世代での利用ニーズ (子どもが小さい頃の思い出の場所であり、今度は孫世代を連れていきたいという期待など) ・良好な自然環境	・大人向けイベントの充実 (夜間イベント、星空観望会等) ・既存施設の老朽化対策 ・広大な敷地内の移動負担軽減
60代	・良好な自然環境 ・ウォーキングコース等、健康づくりとしての場 ・無料・低料金で手軽に利用できること。	・孫と一緒に楽しめるような体験・環境 ・休憩スペースの整備 ・ウォーキングや散策に適した環境
70代～	・既存施設の価値 (科学館、プラネタリウム等) ・無料で手軽に幅広い年齢層が楽しめること	・既存施設の維持 ・高齢者も楽しめる環境整備 (バリアフリー、飲食メニュー、ベンチ、花等)

(3) 評価している点に関する主な意見

◇遊具・遊び・自然

・子供の頃によく連れてきてもらっていましたが、同じぐらいの年齢の知らない子とも遊べてとてもいいところだと思います。大人になるにつれて訪問する機会は減ったものの、大好きです。全て取り壊して、一からまたお客さんが入るような施設を作るのも現代を生きる為に必要かと思いましたが、その施設自体が無くなると、正直思い出が沢山あるので寂しいです。リニューアルしてプラスして新たに子供たちが喜ぶようなものができれば嬉しいです。(10代)

・子供がしっかり体を動かせる遊具があり、また屋内施設も知的好奇心を満足させるものであるため、たいへん評価している。(30代)

・自然に楽しめるのがいい、駐車料金が無料なのが利用しやすい。木のおもちゃ美術館があり小さい子どもから老人まで楽しめる施設があるのがいい。新しく施設ができるのはいいが、こののどかな雰囲気は、あって欲しい。たくさん遠足、県外からの団体利用者も利用料金が安価なのと自然に楽しめるのがいいからではと思う。(60代)

◇科学館・プラネタリウム

・科学館についてはよく勉強になる。自分の子供にもぜひ経験してほしい。また遊具や広大な広場を無料で使える施設は他にあまりなく、これからも利用したい。(20代)

・博物館の様な、展示を見るのみの施設ではなく、小さいうちから科学を実体験しながら学べる貴重な施設であるため、時代の進歩と共に、内容もブラッシュアップしながら、徳島で育ってゆく子供たちの貴重な学習の場であり続けて欲しい。(50代)

・プラネタリウム頑張って続けてください。イベントなど楽しみにしています。(70代)

◇施設利用料金

・入場が無料である上に、遊具等が充実している点がいいと思う。科学館や吉野川めぐりなどの有料施設についても、安価に楽しめるのがいいと思う。(20代)

・娘が工作が好きで、体験工房を目的にあすたむらんどにいつも行ってます！入場料、駐車場と料金が無料なことに、大阪から引っ越してきてすぐは驚きました。親戚家族も徳島に遊びにきてくれたときにサイコーと話していました^^ (20代)

・入場料無料はありがたいが、数百円程度とっても構わないと思う。その上で、定期的に新しいものを取り入れてほしい。(40代)

・ほぼ施設にお金を使わないところ。もっと課金ものを増やしてもいい気がします。メリーゴーランド、屋台的なもの(射的、宝探し)、工作や手作り工房(パン作り、季節のパフェやおまんじゅう等)等は結構お金を落としてしまうと思います。私は4月に大阪から引っ越してきたのですがこんなに無料で遊べることにびっくりしました。経営が心配です。(40代)

・駐車場料金と入園料が、無料なのがとてもありがたいです。今後の運営に影響があるのであれば、大人のみ有料にする等考えても良いのではないのでしょうか。(60代)

◇飲食スペース

・レストランが使いやすいため残してほしい。ブランコの場所が他遊具と離れているのが気になる。レストラン横のスペースをもっと活用してほしい(30代)

・くつろぎ館(レストラン)の居心地が以前より良くなりました。木を生かしたデザインがとても良いです。奥にあるガチャガチャや少しゲーム機などが置かれているコーナーも一体感が持てるよう、より良いコーナーになってほしいです。(40代)

◇その他(その他の既存施設、イベント、スタッフ対応等サービス面など)

・季節問わず遊べる、夏は水遊びができる、季節ごとのイベントが豊富、ピクニックもできる、雨でも遊べる(30代)

・イベントが充実していて、いつ行っても楽しめる。子どもも楽しんでいるし、遠足などでも行って思い出をたくさん作っている。このまま進化させてほしい。(40代)

・体験工房は低価格で工作が楽しめ月毎にメニューが変わり素晴らしいと思います。これからは是非とも継続して欲しい。(60代)

(4) 改善してほしい点に関する主な意見

◇体験機会・環境の充実

- ・子ども科学館の無重力体験や、プラネタリウムは子どもの頃から好きなのでこのまま継続してほしい。美術が好きなので、気軽に入れて、楽しい美術館や博物館があってもいいなと思った。(20代)
- ・科学館は県内最大規模であり展示内容も多岐にわたるため、小中学生にとっての教育、学習の場として代替できない施設であると考えます。私は入口にあるフーコー振子のおかげで、地球の自転をより身近に感じることができました。一方で科学館の展示物が老朽化により本来の展示ができていない点が改善されてほしいです。(霧箱など、県内では中々見ることのできない重要な展示が利用できないのは重大な損失と考えます)。また、今で言うメタバースが展示されていますが、展示開始当時から年数が経過したことで、システムが時代遅れになっており、既に普及しているものと比べ劣ってしまっている状況です。動作も快適とは言えません。展示される意義のあるものとは思いますが、可能な限り時代の変化に合わせた更新が必要と感じます。(20代)
- ・休日の体験工場の待ち時間が長すぎるので整理券制にするなど工夫が必要だと思う。小さい子供は長時間、列で待てない。(30代)
- ・親子がともに魅力を感じ活動できるようなイベントを増やしてほしい。(40代)

◇ターゲット層の拡大

- ・未就学児向けすぎるコーナーや建物が多すぎるので大人や中高生でも遊べたり(デートができたり?w)するテーマパークのような場にしてほしい(10代)
- ・もう少し遊び場と10代後半や子どもだけでなく大人も楽しめるようなテラスやカフェなど(20代)
- ・子供向けの施設が多いのでカップルで行くと気が引けて十分に楽しめない時もある。大人向けの体験コーナーなどの施設や企画も充実させてほしい。(20代)
- ・大人も楽しめるイベントの充実、せっかく山にあるので季節を感じる植木や花のエリアなどの充実、プラネタリウムの星も好きですが宇宙に関する事も学べる施設など、大人がゆっくり自然を楽しめる美味しいスイーツがあるカフェなど(50代)
- ・全世代で楽しめる施設にして欲しい。自然が豊かな所にあり「あさんウォーキングフェスタ」の参加人数の賑わいを見ても、健康増進のために遊歩道の整備や体験施設を子供だけでなく全世代が楽しめる施設にして欲しい。(70代)

◇施設・遊具の適切な維持や安全性確保

- ・徳島は子どもの遊び場が少ない中、広い敷地で個人でも遠足でも子どもが楽しめる施設なので、古いものは改修などをして、より多くの人を楽しめる施設になるよう維持してほしい。(40代)
- ・体験工房はもう少し綺麗で広い場所にしてほしいです。孫がいつも作品を作ってプレゼントしてくれてとてもいい記念になります。吉野川めぐりも孫が大好きで何回も乗りたがるので、もう少し水面のところをゴミがないように綺麗な感じにして残してほしいです。(50代)

◇屋内の遊び環境整備、雨天対策の実施

- ・親子で、無料で、遊べることができとても助かります。いつもありがとうございます。雨の日でも無料で、子どもたちがおもいっきり体を使って遊べることができるのであれば嬉しいです。あと、ご飯がもっと充実すると嬉しいです。県外の友達が徳島県に来てくれた時に、いつもあすたむらんどを利用するのでご飯がもっと美味しければいいなと思います。(30代)
- ・遊具について、雨の日でも少し遊べるものがあればいいんですが。(60代)

◇広さ、移動の課題

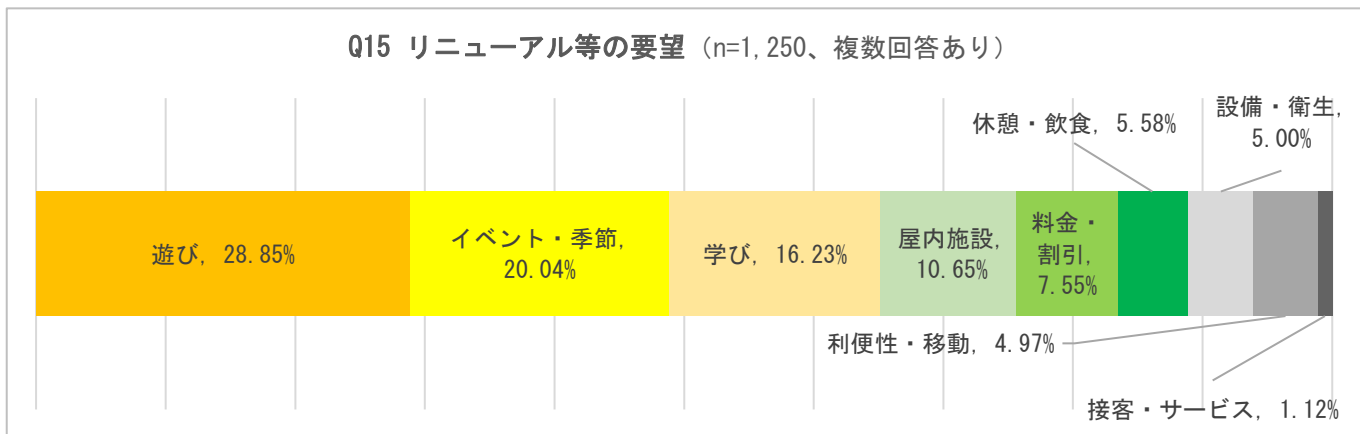
- ・孫と利用させていただいています。とても広い施設なのでお弁当や着替え等荷物と共に移動するのが大変なのでカートを購入しました。レンタルがあれば良いのかもです。(50代)
- ・公共交通機関の本数を増やしてほしい。(60代)

◇飲食・休憩所の改善

- ・家族でたのしめるよう飲食店を充実させてほしい。(30代)
- ・広いので各所にベビーゾーンを作って欲しい。おむつ替えスペース等。(30代)
- ・レストランのメニューを充実してほしい。味も。徳島らしいメニューを考えていただきたいとおもいました。(60代)

Q15 あすたむらんど全体について、具体的なリニューアル等の要望があれば教えてください。

(1) カテゴリ別



(2) 年代別の主な傾向

リニューアル要望を次のカテゴリ別に分類した結果は、以下のとおりです。

【カテゴリ】

- 遊び (遊具、水遊び、アスレチック、体を動かす等)
- 学び (科学、学習、教育、職業体験、プラネタリウム、実験、展示等)
- イベント・季節 (ハロウィン、クリスマス等)
- 屋内施設
- 料金・割引
- 休憩・飲食 (休憩スペースや飲食メニューの拡充等)
- 設備・衛生 (トイレや衛生設備の快適性等)
- 利便性・移動 (移動負荷軽減、公共交通機関への意見等)
- 接客・サービス

	重視する機能(上位3つ)	特徴
10代	遊び、イベント・季節、学び	「イベント・季節」への関心度が年代別で最も高い。
20代	遊び、イベント・季節、料金・割引	10代に次いで「イベント・季節」への関心度が高く、期間限定の企画やSNS映えするコンテンツへのニーズが強い。また、駐車場代などコスト面への意識が高い。
30代	遊び、屋内施設、イベント・季節	未就学児～低学年の子どもがいる親が多く、「遊び」への意見が最も多い。子どもが自由にのびのび遊べる環境と、天候に左右されない「屋内施設」への要望が高い。
40代	遊び、イベント・季節、屋内施設	30代と同様、「遊び」と「屋内施設」を重視しつつ、「イベント・季節」の関心も高い。多様な年代の子どもを持つ親として、幅広いコンテンツを求めている傾向。
50代	遊び、イベント・季節、学び	「遊び」への関心は高いものの、30～40代に比べ、「学び」「設備・衛生」面への意見が増えている。子ども連れだけでなく、自身や親など、幅広い層での来園を考えた快適性や移動のしやすさなど、園内の環境整備も重視。
60代～	遊び、屋内施設、設備・衛生	「設備・衛生」「利便性・移動」への意見が増え、世代別では「学び」への関心度も高い。教育的なコンテンツと、施設利用時の安全・快適性の両面を重視する傾向。

(3) 要望ごとの主な意見

◇遊び（遊具、水遊び、アスレチック、体を動かす等）
・たくさんの広い土地があるので、今まで禁止されてきたスケートボード場やペットも利用できるドッグランなど、使用スペースを決めて活用していくのもいいかなと思います。（10代）
・今でもマルシェなどを行い、大人も楽しめるイベントはあるが、大人が楽しむ常設展示はないので、大人向けの推理脱出ゲームや、ジップラインなどのアスレチックが楽しめるようになれば、集客率が高くなると思う。（20代）
・お昼は子どもたちが、夜は大人が楽しめるスポットが欲しい！大人同士でも乗れるアトラクション（20代）
・小さい子が楽しめる遊具（大型ではなくブランコや、小さめの遊具）があると、大きい子に気を遣わず遊べて、大きい子ももっと思い切り遊べると思います。吉野川めぐりの復活希望の声は周りでも多く、違う形でもいいのでアトラクションとしては残して欲しいと思います。（30代）
・全体をリニューアルする機会に、USJのように、年齢層ごとにコンテンツをエリア分けをすることを検討してもいいかもしれません。保育園、幼稚園、小学校ではそれぞれ、遊ぶものが異なるので、ターゲットに沿ったコンテンツづくりが効果的かと思います。（30代）
・子供がスポーツできる施設、サッカーなど、水泳。外でおもいきり体を使って遊べる施設を作って欲しい。（40代）
・吉野川巡りのようなアトラクションを増やして欲しい（40代）
・アニメイベントなど集客数を見込めるとは思いますが、客層が変わってしまう懸念があります。自然が多く、のんびりと過ごせる施設であってほしい。他県で成功している施設や既存のテーマパークの真似をしても仕方がない。徳島らしいあすたむらんどであり続けてほしい。（50代）
・子供から大人まで楽しめる施設を望みます。自然と一体なアスレチックアドベンチャーとか、恐竜とか動物をテーマにした施設など年代を問わず全ての年代が楽しめる宿泊できて1日で時間が足りない施設を(要望が多すぎかもしれませんが)設計していただきたいです。（60代）
・バーベキュー等テントでも泊まれるスペースを作ったら。設備に余り金をかけない工夫を考えて下さい（70代）

◇学び（科学、学習、教育、職業体験、プラネタリウム、実験、展示等）
・あすたむらんど歴史館とかあったら面白いなと思っています。生まれる前からあったのでその前からの写真などを見たり、今はないけど昔あった施設などを知ったりすることができると楽しいと考えています。また、四季彩館にあった昭和の暮らしを再現した部屋が好きだったのでそれも復元されたら嬉しいと思いました。（10代）
・科学技術館は、デジタルアートや最新の万博で展示されているような、大人も勉強になる科学技術などを取り入れるのも、幅広い年齢層が利用するのではないかと思います。立地的にも、鳴門の観光地に行っていた県外の若者や家族も立ち寄ってくれるのではないかと。（20代）
・現行の展示の時点修正等に留め、大きな内容変更はしないで欲しい。今の施設を綺麗にするだけでも十分に楽しめる。（30代）
・徳島県に科学館とプラネタリウムは必要と思っているので、リニューアルしてもこれらはなくさないでほしい。科学館の展示拡大などは歓迎。（40代）
・SDGsや職業体験など今の時代にあった展示内容に。たまに展示内容をかえれば何回も来なくなる。奥の方にもレストランやカフェがあると利用しやすい。地域の事業者に入ってもらったり。（40代）
・科学館の展示を最新の物にアップデート。また、今はテーマごとに分かれているが広く浅すぎる。宇宙、生命人体の不思議、医学製薬、LEDなど濃く展示し、さらに実際に実験や体験をだれでもできるような体験型がよい。また、製薬やLEDが有名なので企業とコラボした展示や体験など。遊具のコーナーの改修。ふわふわドームやレンタルサイクルなど色んな年齢層が楽しめる遊具の追加。（40代）
・施設、展示物が中学生以上になるとあまり興味がなくなってしまうようなので、ある程度大きい子供も興味がわくようなものがあるとよい。VRや3D、スマートフォンと連動して遊べるもの等（50代）
・徳島県は、子供の学びの場が少なすぎるので、是非とも希望に満ちた将来への夢を大きく持てる場となって欲しい。科学などの理系学習は本からのみでは広がらないので、是非ともこの体験型施設は大切にしてもらいたい。（50代）
・園内を分野別にゾーニングして多様な要求に応えられるコンセプトを設定してもらいたい。（60代）
・アートで色々ラッピングするとか、思う存分に絵を描く事が出来るキャンパスや帆布を用意して来場者に絵を描いてもらいコンテストや美術展示する等。（60代）
・プラネタリウムは是非継続していて欲しい。年寄りも楽しめる施設であって欲しい。（70代）

◇イベント・季節
・徳島県ではイベントが少ないので今年のクリスマスマーケットはとてもいいなと感じました。2日間に限るのではなく、クリスマスの期間（21日から25日ごろまで）できれば長く開催して欲しいと思いました（10代）
・アニメイベントを増やして欲しい（10代）
・屋外でコスプレイベント、アニソンDJイベントができると嬉しいです。（20代）
・人との交流ができる、知らない誰かとも協力して体験するイベント等あればもっと楽しくて賑やかになるのかなと思います。近年私もしかり、人との交流の場が少なく感じているので（30代）
・広い芝生やスペースがあるため、月に1、2回程度、蚤の市マーケット、Xmasマーケット、お洒落なカフェや雑貨、スイーツや珈琲のお店などが集まるマルシェなど子どもから大人までの世代の方が興味を持てるイベントを開催して頂きたいです。県外からの集客も増えると思います。ちなみに、今週末に開催されるXmasマーケットは中学生の息子と行く予定にしています。楽しみにしています。（40代）
・若者向けのイベントを増やすなどすると、ターゲットが定まりきらず、さらに、現在の客層も離れてしまう恐れがあると思うため、現在の客層に対するアプローチをさらに強化する方針にしたい。（実際、若者が増えて今の雰囲気は損なわれると、うちの家族は多分行かなくなります。） ただ、若者向けは夜間イベントに限るなど、住み分けができる分には良いと思います。そもそもリニューアル云々の前に、イルミネーションなどのイベント時は駐車場を有料化するなどして、収入を増やし、現在の施設を修繕等するような仕組みを作ってもらいたいです。あすたむらんどはリーズナブル過ぎるので、利用させてもらいながらも心配しています。（40代）
・体験工房のメニューを広げたり、会議室や小ホールを作って、講演会やミニコンサートを開くなど、幅広い年齢層に向けたイベントを企画してほしいです。（50代）

◇屋内施設
・屋内外の遊具、未就学児でも楽しめる場所（20代）
・はいはいして遊べるスペースを、様々な箇所を作って欲しいです。（20代）
・真夏や真冬は遊具で遊ぶことができないし、室内は有料なので雨の日なども利用しづらい。屋内で思い切り体を動かせる場所ができれば良いと思う。遠足でも他に場所がなく毎年同じになっているので、貴重な施設であることも踏まえて機材などは常に新しく入れ替えて欲しい。（30代）
・雨の日にも遊びに行きたくするような施設になってほしいと思います。今は子供が小さいけれど、大きくなってくると、あすたむらんどのように外で走り回れる環境はとてもありがたいです。室内の遊びも、充実しているが、もっと体験が出来る場所があったり、遊具等で体を動かせる場所があると、より楽しくなると思いました。我が家は年齢層が少し離れているため、下の子を優先すると上の子が物足りない状況になるのであすたむらんどのように外で走り回れたり、室内で遊べる環境は両方が楽しめるのでとてもありがたいです。晴れている日は、あすたむらんどに行こう！とよく言うけれど、雨の日は止めておこう。となる事が多いので、ぜひ、都会ではよく見る、室内の大型遊具場みたいなのがあれば楽しそうだなと思います！！（30代）
・雨天の際にも楽しめる場所を増やしてほしい。（遠足等で利用が多いため）子どもも私も大好きな施設です。駐車場も広く、無料でこれだけ楽しめるのはありがたいです。今後もし何か新しくリニューアルされるなら、カフェ併設の図書館や漫画図書館など、大人も少しゆったりと過ごせるような場所があればうれしいです。おじいちゃんおばあちゃんと孫、若い世代など、幅広い年代が利用するので、子ども達はまだまだ遊びたくても大人は少し静かに休憩したい…そんな時に役立つそうです。今後もまた楽しみに利用させていただきたい場所です。よろしくお願いします。（40代）
・アスレチックのようなものを充実させてほしい。屋内スポーツが気軽にできる施設も良いと思います。バドミントン、バスケットなど（50代）
・駐車場も広く、展示や体験コーナー、プラネタリウムがあり、遊具や水遊びができて良い。県外の方からの評判も良い。でも、雨の日など天候の悪い時でも、自由に遊べる場所が欲しい。子どもは特別な遊具がなくても、走り回れる場所があれば…。徳島は公園も少なく、特に雨の日は高いお金を払ってイオンや徳島駅内にあるプレーランドに行くしかない。プレーランドより安くしてくれたら、雨の日は、（アパートで階下の方に迷惑をかけるので）お金を払ってでも行きたい。（60代）

◇料金・割引
・子供の頃にあすたむらんどを利用し、大人になってまたあすたむらんどの良さに気づき、将来子育てでも利用したいと思っています。大幅なリニューアルの要望は特にありませんが、入園料は無料のままにほしいと願っています。（20代）
・無料の施設には、満足しているので、有料の施設の遊具を増やしてほしい（30代）

・現状のままでよい。ほぼ無料、一部有料で体験できる場。ただ、気軽に有料施設も体験できる料金設定にしてほしい。(30代)
・子どもの体験格差があると言われている中、あすたむらんどでは無料もしくは低価格で利用できるのが最大の魅力だと思う。あすたむらんどに行けばお金をかけずに、子ども達に色んな体験(自然や科学など)をさせてあげられる！という内容やクオリティ向上に期待したい。(30代)
・現状の施設で十分満足しておりますが、特に「吉野川めぐり」は子どもも楽しみにしていたので、是非、継続してほしいです。今後の運営も難しいのであれば、料金をとるなどして、工夫していただきたいです。また、後述のとおり、料金設定についても県民・県民以外で違う料金設定にしたり、工夫していただきたいです。(30代)
・ターゲットを明確にしないと中途半端な施設になってしまう。県外客なのか県内客なのか、家族なのか中高生なのか、それともインバウンドなのかで入園料や駐車場の料金設定も変わってくる。(40代)
・動物園のように、駐車料金を少しかけて施設・設備の改修などして欲しい。(50代)
・徳島県は県予算も少ない県なのに、広い駐車場など維持管理も多額の費用がかかります 個人的に入場料に疑問点があります なぜ県外の方も無料なのでしょう か これだけの設備、県民も入場料徴収しても良い設備だと思っています この規模の県外の県営施設が無料と聞いたことがありません 県民サービスとして無料は妥当と思いますが、県外客からは入場料を徴収しても良いのではありませんか あまりにもサービスしすぎと思っています 下記にそのような説明がありますが、早急に具現化してください(60代)

◇休憩・飲食
・施設が広く、保護者が同伴であることも多いため、屋内(空調あり)や屋根付きの休憩スペースを各所に設置して欲しい。(20代)
・カフェがあって、おしゃれなケーキやコーヒーなどがあれば、ママ友たちも楽しめると思います。(20代)
・日差しを避けられる場所を増やして欲しい。遊具や広場で遊ぶ子どもを見守るとき、休憩するとき、とにかく日陰が無くて夏場は大変。(30代)
・屋外で遊ぶ際において、日が強い時に直射日光を避けることができるような固定テントなどを芝生エリアや遊具エリアにもっと設置して欲しい。(30代)
・大人(10代後半から40代)が行っても楽しめる、カフェやレストランを作ってほしいです。snsで映える施設やお花畑など、気軽にふらっと立ち寄りやすい施設があるといいと思います。個人的にあると嬉しいのは、プールや温泉です。大阪にあるスパワールドのような温泉&プールの一体型施設があると思います。(30代)
・週末等は常にキッチンカーが園内で入れ替わりながら営業していると嬉しい(50代)
・レストランのメニューは地元のものがなく、ありきたりの感じ。もっとワクワク感が欲しい。せっかくの施設がもったいない感じがする。(60代)
・ベンチを増やして大人が休めるようにして欲しい。レストランも増やして欲しい。(60代)

◇設備・衛生
・現状でも魅力的なイベントを十分してくださっている。チラシを見ると、子どもも行きたいやりたい！の連発。年末年始の休みもなく、職員の負担を心配するほど。強いて言えば、建物の古さやトイレの改修、科学館内は暗い場所が多いのでその点は改修を望む。(40代)
・駐車場に入りやすく、また出やすくする。順路案内。トイレを現代風に(70代)

◇利便性・移動
・県南からは行くのが大変なので土日祝日に直通のバスを出して欲しい。もしくは県南に別のコンセプトで新しいのを作って欲しい(40代)
・リニューアルするのなら、道路や駐車場の整備も一緒にして欲しい。お年寄りを連れて行きやすいように、車椅子でも移動しやすいように、園内の道の整備をして欲しい。車椅子やベビーカーを押しながらの坂道は大変だから、曲がりくねった道ではなく、もっと直線的で短距離で施設へ行けるようにして欲しい。(50代)
・園内の中が広いので周遊できるようなバスみたいのがあれば老若男女問わずあちこちに行けて楽しいのではと思います。(50代)
・駐車場からメインの施設までが遠いので、シャトルバスまたは、遊園地にあるような列車でメイン施設まで行けるようになってくれるとありがたいです。最近では無人運転のバスなどもあるので話題性もあると思います。(60代)

徳島県立あすたむらんどにおける官民連携事業化検討に向けた サウンディング型市場調査結果の概要について

本県では、徳島県立あすたむらんど（以下「本件施設」という。）利用者の利便性向上や魅力向上を図ることを目的として、本件施設の将来像や新たな運営体制等について、民間の優れたノウハウと投資の活用も含め、あり方検討を進めています。

この度、民間事業者の皆様への参入意欲を確認し、今後の事業化に向けた事業条件等を検討するため、民間事業者の皆様から、ご意見やご提案をお聞きする「サウンディング型市場調査」を実施しましたので、調査結果の概要を公表します。

1. 調査概要

(1) 対象施設

徳島県立あすたむらんど

(2) 対象者

調査参加申込みがあった法人・団体・グループ

(3) 実施方法

対面またはオンライン方式による個別対話

(4) 調査スケジュール

実施要領の公表 : 令和7年10月30日(木)

個別対話の実施 : 令和7年12月5日(金)～令和8年1月13日(火)

2. 調査結果

(1) 参加事業者数

8事業者(グループ含む)

(施設運営・ビルメンテナンス企業、展示制作企業、広告代理店、飲食関連団体 等)

(2) 個別対話の結果概要

民間事業者の皆様からの主なご提案・ご意見は、以下のとおりです。

《活用アイデア》

施設のリニューアル・高付加価値化

- ・科学館の刷新(没入型展示やデジタルアート、体験プログラム)
- ・吉野川めぐりの演出強化
- ・夜間利用の推進
- ・企業PRや産業学習の場としての活用

新たなアクティビティ・滞在環境の整備

- ・宿泊機能や温浴施設
- ・若年層も楽しめるアミューズメント機能

イベント・飲食

- ・食のイベントや文化発信イベント
- ・音楽フェスやナイトイベント

サステナブル・教育的な取組

- ・環境教育プログラム
- ・防災イベントの開催

《活用アイデア実現のための課題等》

- ・現在は教育施設としての運営中心で収益確保が難しく、コスト構造の見直しが必要
- ・「吉野川めぐり」等の維持管理コスト・リスクが高く、内容の変更や撤去が必要
- ・出店料収入のみでは、イベント運営の人件費等の経費を確保することが困難
- ・駐車場有料化やコンテンツ別料金設定に対する、利用者（県民）の理解醸成

《事業期間》

- ・指定管理なら通常期間で可。PFI 手法等であれば 15～20 年を希望
- ・民間投資の回収および人材育成の観点から、15 年～20 年程度の長期が望ましい
- ・先の世代を見据えたリニューアル期間として、15 年程度を想定
- ・投資回収には長期（20 年）が望ましいが、昨今の物価変動等の状況を踏まえるとまずは 3 年程度であった方が積算しやすい。
- ・スモールスタート & スケールアップの 5 年計画（指定管理期間としては 10 年程度）

《事業手法》

PFI・長期包括等の可能性

- ・大規模投資や施設整備を伴う場合、設計・施工・運営を一括して担う SPC を組成する PFI 手法（RO 方式等）や長期指定管理が望ましい。
- ・来年度の選定では、大規模投資やハード整備を伴うチーム組成が困難
- ・来年公募であればスケジュールがタイト。要求水準等の条件がないと参画判断や積算ができない。
- ・県の方向性が定まらないと、SPC 組成や提案等の準備に動き出せない。
- ・PFI 事業（RO 方式等）の導入には、準備期間として確実に 1～2 年が必要
- ・PFI 事業とする場合、R9 年度開始のスケジュール対応は困難

段階的アプローチの提案等

- ・まずは短期の指定管理（3～5 年）で基盤整理を行い、その後に長期（20 年程度）の PFI 等へ移行する段階的アプローチが現実的

- ・当初は指定管理者制度。将来的には PFI（RO 方式）やコンセッション方式
- ・指定管理者制度＋一部民間投資（飲食施設整備等）

その他

- ・指定管理者制度が最も参入しやすい。DBO 方式も可
- ・指定管理者制度（PFI は検討していない）
- ・指定管理者と連携した共同事業、または JV（共同企業体）への参画
- ・整備と運営の一括発注は、チーム組成の難易度が高く、競争性の低下を懸念
- ・展示リニューアルについては、建築工事と切り離れた「展示単独発注」を強く希望

《行政に対する要望等》

- ・大規模改修やインフラ整備（道路等）は、行政による投資・予算措置が必要
- ・躯体・基本設備・大規模リニューアルの初期投資費用は県負担が必要
- ・大規模な基盤整備や既存施設の改修費は、別途県による負担が必要
- ・現行利用料収入を踏まえた維持管理運営費等の確保
- ・事業開始前に主要設備の健全度調査と必要な更新工事を県において実施してほしい。
- ・改修内容等の情報開示を早めをお願いしたい。
- ・発注段階での業務範囲（設備と展示の区分等）の明確化
- ・物価・人件費高騰を踏まえたスライド条項の適用
- ・入園料・駐車場は「無料」の継続が望ましい（有料化による客数減の懸念）。
- ・交通アクセスの見直し（直通バス等）や、屋外広告物条例の緩和
- ・イベント開催時の電源・給排水設備の使用許可

3. 今後の予定

今回のサウンディング調査でいただいたご意見ご提案を踏まえ、あすたむらんの「基本構想」の策定を行うとともに、民間事業者の皆様がより参画しやすい事業条件など、事業化の際に必要なとされる詳細な検討を進めて参ります。

あり方検討会及び庁内P Tからの主な意見

(1) 遊具・科学館や新エリアなど機能の充実に関する意見

①遊具について

わんぱく砦は残しつつ、もう少し小さい子どもでも安心して楽しめる新しい遊具があればいい。
 他にはない斬新な遊具がある。今のものを大事にしていくという視点も重要。
 インクルーシブ遊具を中心に、バリアフリー化だけに留まらず、子どもと見守る大人による地域コミュニティ再構築と、多世代間交流のコミュニティにしていく検討を。

②科学館について

STEAM教育の観点から言えば、科学館は絶対必要。県内から無くすのはナンセンス。自然や科学を好きになるきっかけがなくなってしまうので、科学館は大事にしてほしい。

主体的に体験するゾーンを作ってはどうか。例えば、修学旅行生とか来園者がワークショップを行う運営側になれば、いつも新しい内容のワークショップになるし、ファンになってもらいやすい。

東京の「船の科学館」は、地方から子どもを連れて行くくらい、県外からも人気。科学分野のニーズは非常に高いので、「科学を体験できる」場であれば、観光客も増えるのではないかな。

科学館を作った当初のコンセプトとかテーマは素晴らしい。今後も残してほしいものはたくさんある。

県内に水族館が無いので、科学館の1エリアをミニ水族館にできないか。神奈川県相模原ふれあい科学館のように、徳島の河川を再現したような展示があれば嬉しい。

アルファ21のような大がかりの展示は、導入時は新しくて良いが、更新が難しく維持費も高いと思うので、VRやAIなどソフトだけ入れ替えたなら新しくできるような展示がよいのでは。

学校現場でも、考えながら課題を解決していくプロセスが大事にされ始めていて、体験する場の需要が高まってきていると感じる。

あすたむらんどは自然がいっぱいで、都会の博物館や科学館には無い「現体験」ができるという良さがある。現体験と科学体験を掛け合わせた、今のあすたむの良いいところをきちんと残してほしい。

最近、新しいことをやりすぎて何を伝えたいのか分からない科学館が多い。科学の基本を学べるのがやはり1番大事ではないかな。

徳島県の科学的な拠点というのは必要。国自体も理系教育に力を入れており、理系のエッセンシャルワーカーが足りないことがはっきりしているのだから、あすたむらんどをまるまるエンタメ施設にしてしまうのはもったいない。

最新技術は進歩が目まぐるしく更新を考えると、今のあすたむらんど、流行り廃りのない原理・原則を学べる施設というのもすごく価値がある。

徳島の名産、大谷焼きの色付けや椎茸栽培、渦潮などを生かして科学を勉強する、科学と地域を掛け合わせることで観光としても名所になると思う。

今の展示機械は古さが目立つ。今後改修するにあたって、OSやソフトウェアが更新できることを前提に施設の導入を考えるべき。

従来の物理的な体験装置を全て新しくするのではなく、ARやVR、デジタルアートを駆使し、低いハードウェア投資で常に最新のコンテンツに書き換え可能な、持続可能な展示空間を構築できれば、民間事業者の初期投資リスクを低減できる。

③プラネタリウムについて

プラネタリウムで今日の星空解説をした後、屋外でキャンプしながら実際に星空を見ていただくなど、既存施設と組み合わせた学びのあるキャンプ運営をすると強いコンテンツになるのではないかと。
光学式投影機とデジタル映像との連動により、単なる星空観察に留まらず、深海探査、人体の細胞内ツアーなどが可能になる。また、没入型のデジタルアート空間や音楽イベント会場として利用すれば、収益源の多角化に貢献できる。

④吉野川めぐりについて

吉野川めぐりは子どもたちにとっても人気なので、内容を良くして維持してくれるのが理想。
この規模の遊具だと改修した場合、投資の回収は難しいが、地域にとってかけがえのない残しておくべき施設の一つだと思う。

⑤新エリア・新機能について

子ども達が世界に興味を持つ体験機会となるようなフライトシュミレーター系アトラクション整備や大型デジタルアートミュージアムの導入など、本県の強みになるような大型キラーコンテンツが必要では。小規模な施設整備では他県に勝てない。
ドッグランがあればよいのでは。
昼間は子どもメインだが、夜間のみ営業するおしゃれなバーや図書館があるとか、夜を大人向けデートスポットにするのはどうか。夜を活用しないのはもったいない。
入口から近い所は子どもメイン、奥は大人メインなど、ゾーンを分けてはどうか。
結婚式の前撮りイベントとか、ブライダル分野でも使えるのではないかと。
県内に、中高生が気軽に行けるようなデートスポットが少ない。デート向けのエリアを作ってはどうか。
本とコーヒーを楽しめるイベントが人気。ゆっくり本を楽しめるエリアがあればいい。
どんな場所であっても面白いコンテンツがあれば来ると思うので、サバイバルゲームなどニッチな分野で活用していくのはどうか。
若者が利用する場として、ボードゲームができる場所が欲しい。
職場体験や人材育成など、学生の力を育てるような所でもあってほしい。
徳島には学生団体も結構いるので、団体と一緒にイベントやコンテンツ作りができると良い。
「見たい」「行きたい」「体験する」の3つを組み合わせることで、あすたむらんどが学び、交流の拠点になればいい。
徳島ラーメン作り体験など、食の文化も楽しめるような体験型学習スポットがあるとありがたい。
中身のコンテンツが良ければ遠方からも人は来るが、他とは一味違う何かがないと来てくれない。また、リピーターを増やすためにはほとんど更新して飽きさせない仕組みを検討した方が良い。
東京でニッチに開催されている体験型アートイベントなどのコンテンツを呼び込めば、高速道路から近いという立地の強みを生かし、関西圏、中四国のターゲットを十分取り込めるのではないかと。
あすたむらんどの広大な土地と徳島に居る外国人材を活用し、外国人が大切にしている伝統行事や、日本にもファンが多いイベントを開催してはどうか。徳島の方に海外を、海外の方に徳島を知っていただくいい機会になる。
中高生向けに加えて、大人向けのちょっと渋いコンテンツ、体験型イベントも充実してほしい。
虫取り体験、魚釣り体験など、生き物とふれあう原体験ができる施設があれば良い。
イベントを委託業者で行うと膨大な人件費がかかるが、県民の得意分野を生かしたボランティアベースの活動、県民と共に作る運営体制ができれば、低コストで多様かつ高品質なイベントを開催できる。
あすたむらんどは広いので、親子で漕げる自転車など、家族の思い出となる移動手段を設置するのも手だと思う。
子どもたちが人気キャラクターに会える場所が1つでもあれば、県内外から来園する動機が生まれる。
徳島ならではの食や体験を組み合わせたコンテンツであれば、幅広い世代にとって魅力的なものになり、体験する価値があるもの、費用対効果が高ければ集客や収入も見込める。

⑥自然について

桜やコスモスなど四季折々の自然が楽しめるエリアを作ってはどうか。子どもだけでなく、シニア世代もリピーターとして取り込めると思う。
少子高齢化の時代なので、ご年配の方が園内を散歩できるコースや手すりの整備を行い、運動するきっかけになればいい。お孫さんと一緒に来てくれるのでは。

(2) ターゲット層や見直し方針に関する意見

①ターゲットについて

学校の遠足でよく利用されている。教育面で利用しやすい良さは維持していくべき。
子どもを持つ親としては、乳幼児専用エリアがあったり駐車場が駐めやすかったり、いつでも気軽に行ける非常に使いやすい場所。この良さは大事にしてほしい。
県内で子どもを遊ばせるならココくらい、子育て世帯に圧倒的な人気がある。今ある施設や設備を直してほしいという声も多い。
年齢層などターゲットや見直し後の施設目的を明確にすべき。
誰をワクワクさせる施設を目指すのかをみんなで考える必要がある。
中高生があまりいないからこそ、安心して小さい子を遊ばせられるというプラスの面もある。中高生が大勢来ようになれば、今の利用者層の親子連れは減る可能性がある。だからこそ、ゾーニングによりしっかりターゲット層を分けるべき。
少子化の中、来場者数を増やしたいなら、観光インバウンドを取り込むしかないと思う。
若者若者しすぎるものが1個あるとファミリー層が一気に離れたりということがある。若者をターゲットに含めようとするなら、ジップラインや高所アスレチックなど、若者に特化しすぎない健全に楽しめるものがあると良いのではないか。
ターゲットを思い切り設定するのか、多世代が利用できる場所にするのか、方向性を決める必要がある。
利用されていない夜間を活用し、若い層が来やすいおしゃれスポットにしてはどうか。
時間、コンテンツ、価格、人のゾーニングをして、しっかりと目的や出口を示すことによって、どこから収入を得てどこに分配するかを明確にするのが良い。
夜間、大人がゆったりと楽しめるスポットとして活用し、そこを収益化することによって日中の子ども向け公園運営に還元するシステムが叶えば良いのでは。
アンケートで見た年代別の求める機能を、時間的・空間的なゾーニングに生かせばすごくいい形になると思う。
年代別のモデルルートを簡単に描いていくと、課題やニーズがより明確になる。

②見直し方針について

経年劣化ではなく、経年進化していくものもいい。全体のコンセプトを、木など自然のものをメインとしてはどうか。
必ずしも大型整備が必要なわけではない。未来のコストを見据えた展示を考えてほしい。
他県の科学館の運営費と比較しても、今の運営費が高すぎるわけではない。県民満足度が悪いわけでもない。できるだけ低コストでできる範囲で、内需拡大より外からの集客を図るという方針でよいのでは。
子ども連れにとっては、今のままで十分魅力的な場所。キッチンカーなど手軽に取り入れられる魅力的なものを、日常に取り込んでいくのが大事。
当たり前と思っているものが、外から見ると当たり前じゃないことは多い。地元の方が誇れるものを体験できる施設にしてはどうか。
屋外施設は冬場の集客が課題。何か仕掛けが必要。

広い施設なので1日中楽しめるポテンシャルはある。時間ごとに雰囲気やコンテンツを変えるだけで、より長く滞在できる場所になる。
斬新なもの、残したいものと、新しくするもので住み分けもできそう。持続性のない施設開発は将来世代に「負の遺産」を残してしまうことになる。

(3) 運営体制や外部連携等に関する意見

関係団体・企業みんなが運営側になるような仕組みづくりが重要。連携や協力が当たり前のようにできる関係が望ましい。
ヨルダンの展示や食を季節のイベントに取り入れるなど、大阪・関西万博のつながりも上手く活用できればいい。
展示や設備を完全に外部委託してしまうと、定期的な更新がやりにくくなる。関係企業や団体はみんな運営側に入ってもらおうなど、内製化を図り、更新しやすい運営体制にすべき。
各企業の研究所等と連携してはどうか。各企業の展示ブースを作り、展示したい企業を募れば、定期的にコンテンツも更新できるし、子ども達や親にとっても最新の技術を学べるし良いのでは。
職場体験の受入先がなかなか見つからないと学校現場から聞いたことがある。中高生の職場体験施設として活用してはどうか。
様々な団体が徳島市内でマルシェをやっているのだから、それらと連携して出店してもらったりできないか。

(4) 利用者サービス等に関する意見

①利用料金について

入るときに入場料かかると来にくくなるが、科学館エリアのコンテンツが常に更新されていく仕組みなら、科学館に年パス作ったらニーズはあると思う。
無料で楽しめるのは大きな強み。一人100円～500円くらいまでなら出せても、1,000円以上となると、非常にクオリティが高いものでないと出せない。徳島の全ての子ども達が科学に触れられる場所として、できれば無料、できるだけ安価を目指してほしい。
少子化によりメイン利用者層（0～9歳）が約半分に減少する見込みなので、キラーコンテンツを整備し、県外からの利用者取り込みが必要ではないか。キラーコンテンツの有料施設と、無料エリアを並立させるのはどうか。
アンケート結果から、料金については比較的出してもいいという声が多数。 今の若い親も、価値のあるものにはある程度お金を出すので、価値があると思える魅力的な施設にすることが大事。
税金を投入しているので、県民価格と県外客の価格を分けても良い。
電子マネーを使えるようにしたり年パスを導入したり、利用者が支払いしやすいシステムを検討すべき。
アンケート結果から、料金は取ってもいいと思うが、中学生・高校生も来やすい場所にするならば、この時代の価格をどう抑制するか検討を。
入園料無料で駐車場は一律価格設定、おもちゃ美術館のようなコンテンツはそれぞれ希望者が課金するというタイプが一番利用していただきやすい。

②交通・アクセスについて

中高生を取り込むには、交通インフラが弱い。車を持つ大人たちをどう呼び込むのが鍵ではないか。
中高生には往復のバス代が高くハードルになっている。イベント時に中高生のバス無料チケットを配ってはどうか。
観光客を呼ぶなら、飛行機で来県した方向けに、空港からもあすたむらんど行きバスを出せば良いのでは。

交通機関がないと絶対に人は増えない。車も、あすたむらんの許容量からしたら無制限に集めればいい訳ではない。駐車場の許容台数から適切なライン、あとどれだけ公共交通機関で来場してもらうかをセットで考えるべき。

若い世代にとって、車がないのでアクセス事情は重要なものになってくる。

③ 飲食について

「食」の要素も重要。毎月第〇曜日はキッチンカーが出るとかが定着すれば、リピートのきっかけになる。

飲食スペースのメニューの見直しが必要ではないか。塩分やアレルギーに配慮したメニューがあればよい。

④ 環境について

いつ来てもゴミが落ちておらず、植栽も綺麗。環境の良さは維持してほしい。

利用者が増えたとしても、ゴミが落ちていない、綺麗な環境を維持してほしい。インスタ映えするようなゴミ箱にして、SNSでの発信も狙いつつ、利用者が楽しくゴミを分別できるような仕掛けが作れないか。

⑤ イベントについて

アートは大学生から大人まで、広い世代で人気だと思うので、期間限定のイベントでもいいので取り入れられないか。

アニメとか有名なアーティストとのコラボイベントがあれば、中高生も来ると思う。

マチ★アソビとコラボしてはどうか。

クリスマスマーケットを開催してはどうか。

子どもが中学、高校に上がり、足が遠のいている。週末にマルシェなどのイベントがあれば行くきっかけになる。

⑥ 情報発信について

運営側より、利用者側が発信する方が、宣伝効果が高い。写真映えするスポットを作ってはどうか。

SNS発信は施設側がするだけでなく、各世代の方が行ってみたいと思えるような、あらゆる世代のインフルエンサーと連携しながらうまく広報していくことが重要。

現状、積極的に調べないとイベント開催していることがわからないので、SNSや色々な方法で発信していただきたい。

今かかっている運営コストや老朽化のリニューアルに必要な経費などの現状を開示し、県民にちゃんと理解してもらい進めることが非常に重要。

あすたむらんどあり方検討会設置要綱

(目的)

第1条 徳島県立あすたむらんどにおける施設の価値最大化と更なるにぎわい創出を目指し、民間活力の導入を見据えた施設のあり方を検討し、将来像や運営の考え方を示す「基本構想」の策定の参考とするため、あすたむらんどあり方検討会（以下「検討会」という。）を設置する。

(協議事項)

第2条 検討会は、前条の目的を達成するため、次の事項について協議する。

- (1) 徳島県立あすたむらんどの施設整備や運営方法に関すること。
- (2) 徳島県立あすたむらんどの魅力向上に関すること。
- (3) その他、目的を達成するために必要と認められること。

(組織)

第3条 検討会は別表に掲げる者（以下「委員」という。）をもって組織する。

(座長)

第4条 検討会には、座長1名を置き、徳島県観光スポーツ文化部長がこれに当たる。

- 2 座長は、検討会を代表し、議事を総理する。
- 3 座長に事故があるときは、委員のうちから座長があらかじめ指名する者がその職務を代理する。
- 4 座長は、検討会の運営上必要な場合は、委員以外の者を検討会に出席させて、説明を求めること、及び意見を聞くことができる。

(庶務)

第5条 検討会の庶務は、徳島県観光スポーツ文化部にぎわい政策課交流拠点室が所掌する。

(雑則)

第6条 この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、座長が別に定める。

附則

この要綱は、令和7年11月18日から施行する。

別表

＜委員＞

所属・役職	氏名
NPO法人チルドリン 代表理事	蒲生 美智代
阿波っ子未来会議（鳴門教育大学）	安藤 瑞輝
阿波っ子未来会議（城北高校）	栗林 さくら
阿波っ子未来会議（城ノ内高校）	市岡 春花
四国大学 准教授	姫田 知子
四国大学 准教授	鈴鹿 剛
株式会社セブンシーズエクスペローラー 代表取締役	簾藤 真太郎
株式会社ときわ 代表取締役社長	高畑 富士子
株式会社スマイルガーディアン 代表取締役	清水 群
公益社団法人徳島県産業国際化支援機構 販路開拓・海外進出課 営業部長 ブランディング担当	犬伏 まり

＜庁内PT＞

所属・役職	氏名
知事戦略局 主任主事	和泉 貴也
観光スポーツ文化部 観光企画課 主任	澤田 宏美
生活環境部 県民ふれあい課 主事	簗手 大和
こども未来部 こども未来政策課 主任主事	長岡 将吾
経済産業部 産業創生・大学連携課 主事	藤本 奈央
農林水産部 林業振興課 主任	桑田 悠司
県教育委員会 施設整備課 係長	折目 卓士